

ベビー&チャイルドシート・ベッド

フラディア グロウ

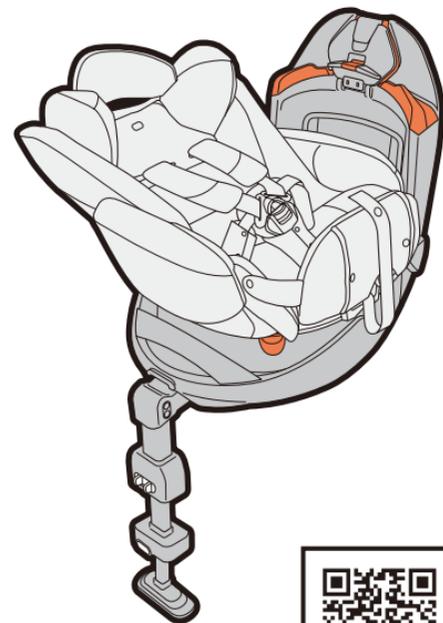
Fladea grow

取扱説明書／保証書

体重 **2.5kg から 18kg まで**のお子様用です。
本製品は、UN ECE-R16 または他の同等の基準に基づいて
認可された自動車 3 点式／リトラクター付きシートベルトを
装備した車に限り使用できます。

このたびは、アップリカ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前に、取扱説明書(本書)をよくお読みのうえ正しくお使いください。
また、お読みになった後は、**本書を大切に保管してください。**
本書に記載されている以外の方法で使用しないでください。
製品の機能が充分発揮されないだけでなく危険です。
本書のイラストは説明の便宜上、一部仕様が異なる場合があります。

UN ECE-R44/04 適合
準汎用型グループ0+、グループ I、2.5kgから18kgまで。



ご使用前に
〈P2〉

取り付ける前に
〈P19〉

車への取り付け
〈P35〉

横向きベッド
〈P45〉

後向き
〈P51〉

前向き
〈P57〉

〈お願い〉

- ・本書に使用しているイラストは、操作方法や仕組みなどを分かりやすくするため、実物とは多少異なる場合があります。
- ・本書の内容について、誤りや記載もれなどお気づきの点がありましたら、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。
- ・製品の品質向上のため、予告なしに一部仕様変更する場合がありますので、あしからずご了承ください。

アップリカ・チルドレンズプロダクツ合同会社

〒542-0082 大阪市中央区島之内1-13-13
お客様サポートセンター TEL 0120-415-814
携帯電話からご利用の場合（通話料お客様負担） TEL 0570-004-155

ご使用前に

チャイルドシートについて	2
保護者の方へのアドバイス	2
本書の表示について	2
取り付ける手順	3
各部のなまえ	5
チャイルドシートの持ちかた	8
お子さまの条件	9
座席の条件	10
シートベルトの条件	12
ご使用上の注意	14
日常の点検	18

取り付ける前に

レッグサポートの使いかた	19
デブスアジャスター(奥行き調節座面)の使いかた	20
回転のしかた	21
リクライニングのしかた(横向きベッド・後向きのみ)	23
肩ハーネス位置の目安	25
肩ハーネス位置(ヘッドレスト部の高さ)の調節のしかた	27
パッドの使いかた	28
フレックスシェードの使いかた	31

車への取り付け

取り付け準備	35
取り付けかた	37
取り付け後の確認	44

横向きベッド・後向き・前向き

横向きベッドにする	45
横向きベッドのお子さまの乗せかた	46
横向きベッド使用時の確認	50
後向きのお子さまの乗せかた	51
後向き使用時の確認	56
前向きにする	57
前向きのお子さまの乗せかた	58
前向き使用時の確認	61
車からの取り外しかた	62

お手入れ

縫製品の洗いかた	63
シートカバーの取り外しかた	64
シートカバーの取り付けかた	68
お手入れ/保管/廃棄のしかた	72

その他

困ったときには	73
取り付け可能車種について	75
保証について	76
アフターサービスについての連絡先	77
保証書	78

チャイルドシートについて

- ・チャイルドシートはシートベルトで自動車の座席に固定して使用し、自動車事故などの際に、お子さまの傷害を軽減しますが必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。
- ・日本国内及び、UN ECE規則を批准している国での使用は可能です。保証については日本国内においてのみ有効です。
- ・本書に説明されている方法以外で使用しないでください。衝突などの際に十分な性能を発揮することが出来ないおそれがあります。

〈中古品のご使用について〉

- ・前の使用者の使用履歴が分からない場合や、使用状態が不明な製品をご使用になることはできません。特に事故歴の不明な場合はご使用になれません。
- ・クラック(ひび割れ)や大きなキズ、留め金部の緩みなどがある場合は、ご使用になれません。事故などにより強い衝撃が加わった可能性があります。

本書の表示について

・「危険」、「警告」、「注意」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度の大きさにより区分したものです。大変重要な内容ですので、必ずお守りください。

表示	表示の内容
危険	誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されます。
警告	誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。
注意	誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定されます。

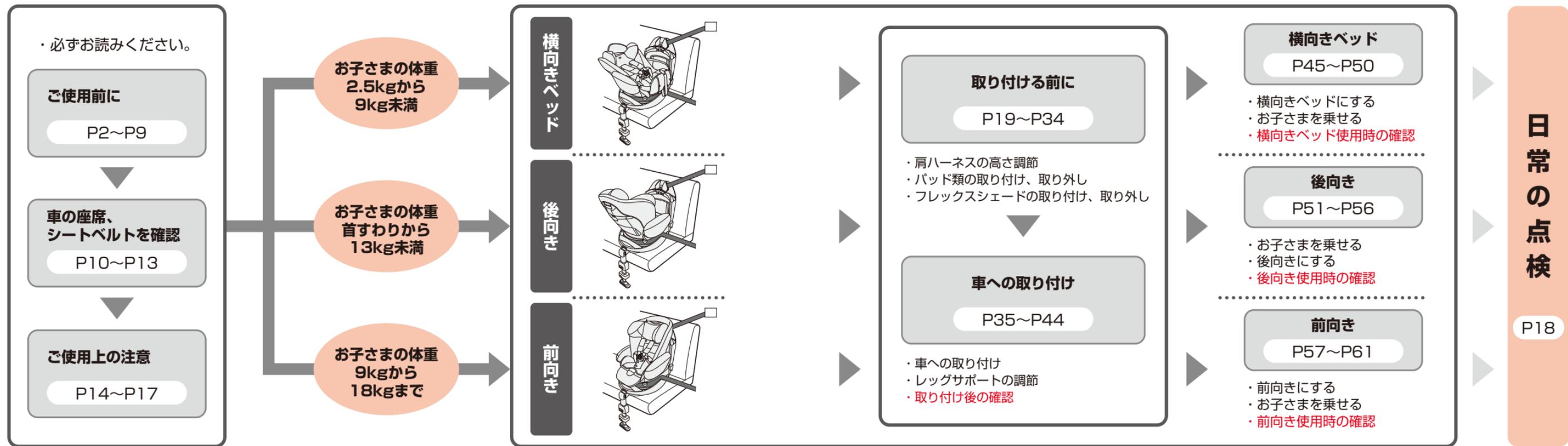
保護者の方へのアドバイス

- ・お子さまをはじめて車に乗せる時から、チャイルドシートの使用を習慣にしてください。
- ・長距離を走る場合は、1時間おきに休憩をとり、お子さまをシートから降ろしてあげてください。また、発達段階にあった姿勢をとってあげてください。
- ・授乳後30分位は吐き戻しやすいのでご注意ください。

製品の取扱いにおける禁止行為です。

製品の取り扱いで知っておくと便利な内容です。

取り付ける手順



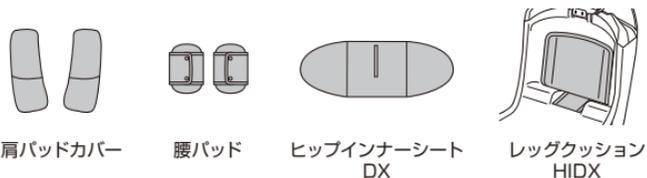
各部のなまえ

梱包内容

・ご使用前に、各部品がそろっていることをご確認ください。

〈パッド/フレックスシェード〉

フラディア グロウ 〈HIDX〉



フラディア グロウ 〈DX〉

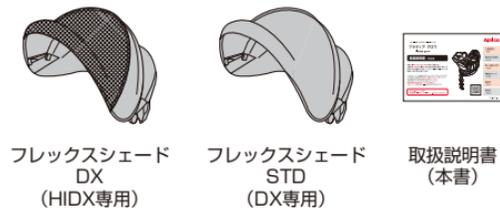


フラディア グロウ 〈STD〉



腰パッド

〈付属品〉

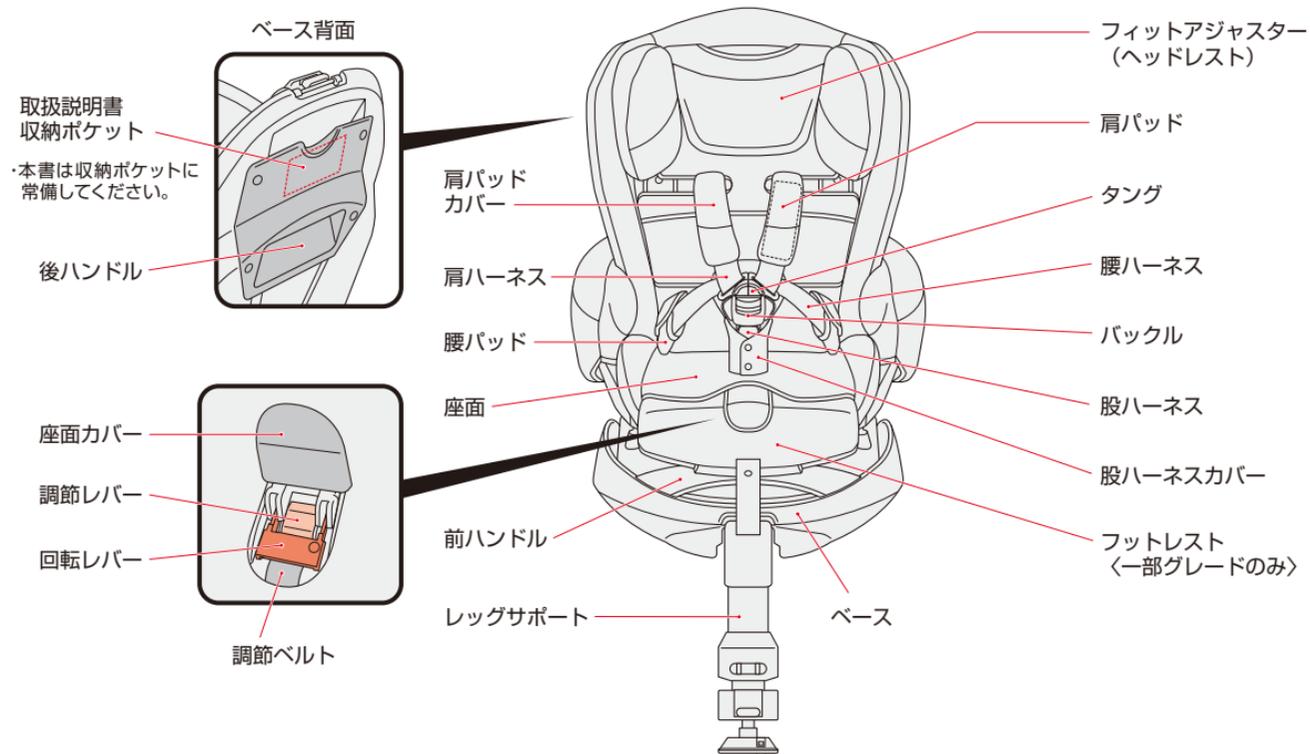


〈重要〉ご使用前に、お客様情報登録のお願い

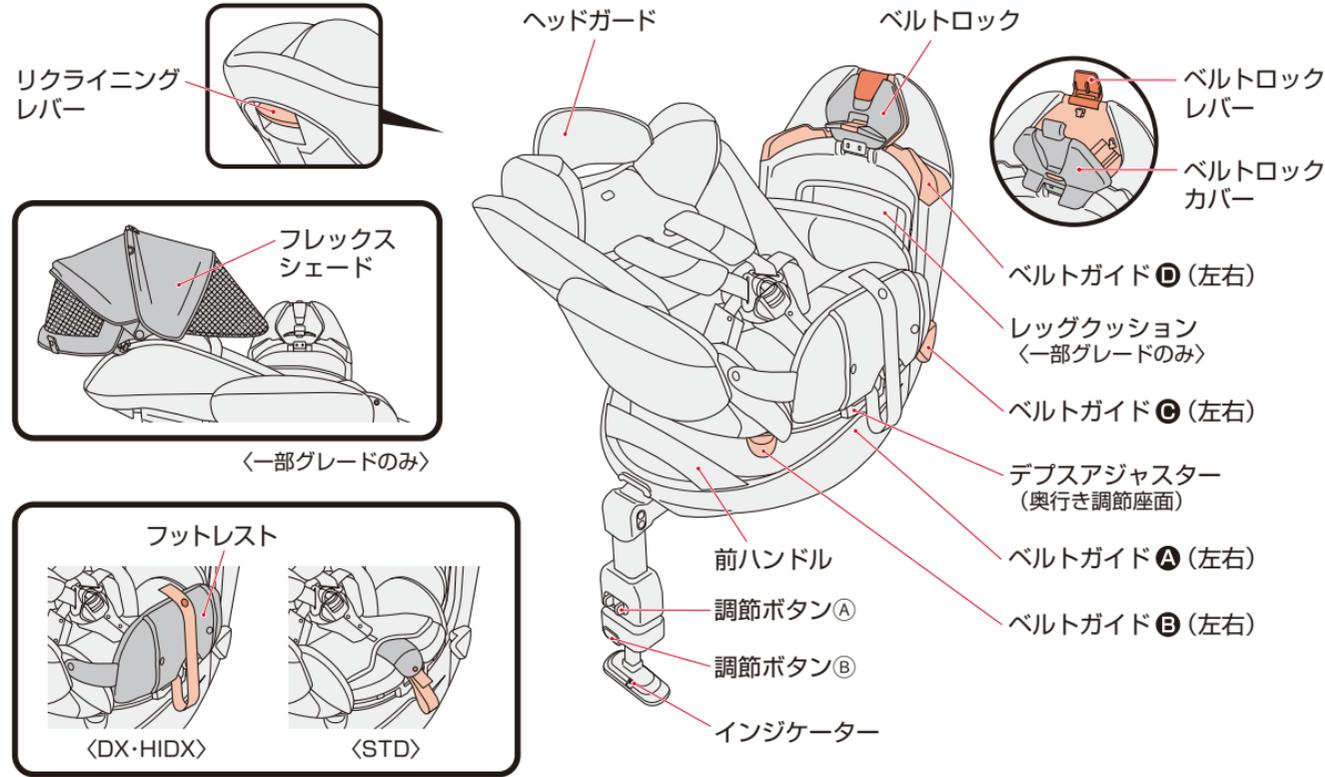
弊社では、万一お買い上げいただいた製品に問題があることが判明してリコールを実施する場合に、直接その内容をお知らせするために、お客様登録システムを導入しております。

安心してチャイルドシートをご使用いただくために、お買い上げ日より一カ月以内に必ず登録をお願い致します。

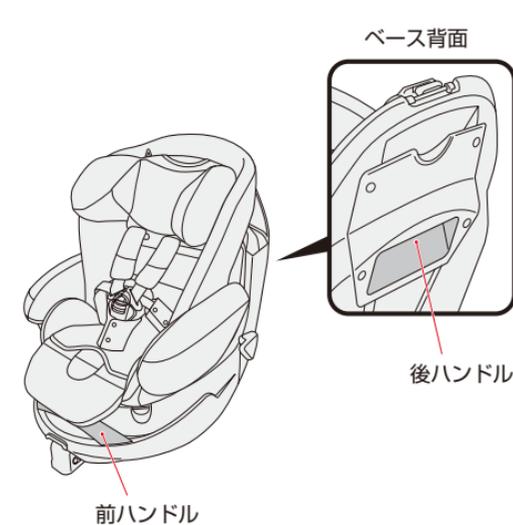
弊社ホームページ <http://www.Aprica.jp/>



各部のなまえ



チャイルドシートの持ちかた



前後のハンドルを両手でしっかり持つ。



・ハンドル以外を持たない。
可動部で挟まれ重傷を負うおそれがあります。



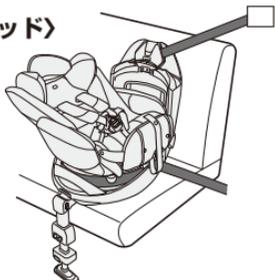
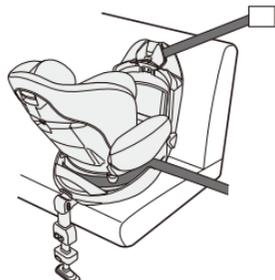
・レッグサポートは固定されていません。持ち運びに注意してください。
・チャイルドシートを周囲のものにぶつけないように注意してください。

お子さまの条件

危険 ・ 体重の条件を満たしていないお子さまには使用しない。**衝突の際に充分性能を発揮できません。**

お子さまの体重にあわせて、3通りの使いかたがあります。

・ 参考年齢と参考身長は目安です。お子さまの体重に合わせてご使用ください。

1 体重2.5kgから9kg未満	2 首すわりから13kg未満	3 体重9kgから18kgまで
参考年齢：新生児から1歳頃まで 参考身長：50cm～70cm	参考年齢：首すわりから1歳6カ月頃まで 参考身長：60cm～80cm	参考年齢：1歳頃から4歳頃まで 参考身長：70cm～100cm
<p>・ お子さまの足が座面からはみ出さないこと。</p> <p>〈横向きベッド〉</p> 	<p>・ 首がすわっていること。</p> <p>〈後向き〉</p> 	<p>・ 体重が9kg未満のお子さまは前向きでは使用できません。</p> <p>〈前向き〉</p> 

警告 ・ お子さまの足が座面からはみ出る場合は横向きベッドで使用しない。**衝突の際に充分性能を発揮できません。**(P47 参照)

座席の条件

〈お奨めする取り付け座席の位置〉

・ お子さまの安全性を高めるために、運転席より後ろの座席に取り付けることをお奨めいたします。ただし、フロントエアバッグが装備された助手席には取り付けできません。

〈サイドエアバッグが装備された座席に取り付ける場合の注意〉

・ サイドエアバッグやカーテンエアバッグのみの座席には使用できません。
・ 車の取扱説明書にチャイルドシートの使用に関する記載がある場合は指示に従ってください。

〈取り付けできない座席〉 ・ 座席の位置及び装備

・ 車のヘッドレストが外せず、ヘッドレストとチャイルドシートのベルトロックレバーに干渉する座席。
・ 2列目中央の座席。



・ 進行方向に対して横向き及び後ろ向きの座席。



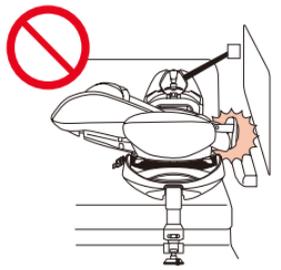
・ フロントエアバッグが装備された助手席。



・ ピラーなどに接触して、正しく取り付けできない座席。



・ 座面が車のドアトリムなどに干渉し、ドアを閉めることができない座席。



座席の条件

〈取り付けできない座席〉・座席の形状

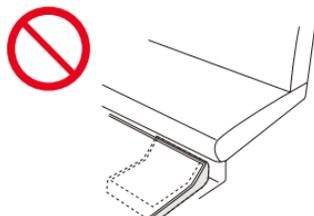
- ・極端に奥行きが短い座席。(補助席や幼児専用座席)
- ・極端に奥行きが長い座席。(ベースが車の背もたれに全く接しない座席)



- ・レッグサポートが車の床に全く接しない座席。
- ・レッグサポートを一番短くしても座面に25mm以上隙間ができる座席。



- ・車のフロアに、ヒューズボックス、収納型シート、コンソールボックス、スペアタイヤの収納スペースなどがある座席。



- ・座面のフラット面が極端に狭く正しく取り付けができない座席。

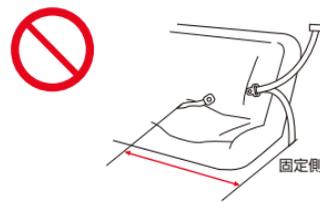
(極端なバケットシート、スポーツ車、レース車、補助座席、幼児専用座席、市販座席に取り替えられた車両など)



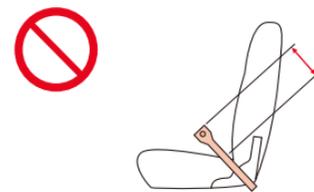
シートベルトの条件

〈取り付けできない座席〉

- ・シートベルトの取り付け幅が極端に小さくベースでバックルを踏みつける座席。



- ・バックル側のベルトが固い樹脂製などでかつ極端にバックルが長い座席。(一部のRV車)



- ・バックル及び腰シートベルトが極端に高い位置から出て、しっかり取り付けができない座席。



〈シートベルトの条件〉

- ・本製品は、UN ECE-R16または他の同等の基準に基づいて認可された自動車3点式/リトラクター付きシートベルトを装備した車に限り使用できます。

シートベルトの種類	特徴	取り付け上の注意点
ELR付シートベルト (緊急ロック式巻取装置付)	通常はシートベルトが肩側の取り付け部から自由に入れでき、急ブレーキや衝突などの時だけロックされる。	シートベルトをゆるやかに引き出し使用すること。
ALR/ELR付シートベルト (チャイルドロック機構付)	シートベルトを全て引き出すと、入る方向にしか動かなくなる機構付です。全て巻き取るとロックが解除されます。	シートベルトを全てもどすと、チャイルドシート固定機構が解除されます。
その他	上記に当てはまらないシートベルト。	本製品は、ご使用できません。

シートベルトの条件

〈以下のシートベルトでは使用しないでください〉

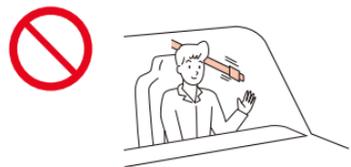
・2点式シートベルトの座席。



・シートベルトの取り付け部が上下共巻き取り式の座席。



・パッシブシートベルトの座席。
(座席に座ってドアを閉めると自動的にシートベルトが装着される座席)

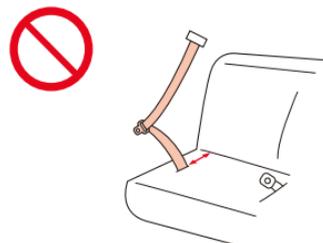


・市販のスポーツタイプのシートベルトが装備されている座席。



〈以下の3点式シートベルトでは使用しないでください〉

・バックル及び腰シートベルトが極端に前方から出て、リクライニング機構もなく、しっかり取り付けできない座席。



・シートベルトの長さが極端に短く、本体が固定できない座席。



・シートベルトの条件についてご不明の場合は、弊社お客様サポートセンターにお問い合わせください。

アップリカ・チルドレンズプロダクツ合同会社

〈電話連絡先〉

お客様サポートセンター TEL 0120-415-814

携帯電話からご利用の場合(通話料お客様負担) TEL 0570-004-155

受付時間: AM10:00~PM5:00(土、日、祝日、弊社所定休日を除く)

ご使用上の注意



危険

誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。

・体重2.5kg未満及び18kgを超えるお子さまには使用しない。衝突の際に充分性能を発揮できません。

・いかなる場合にも、フロントエアバッグ装備車の助手席には本製品を取り付けない。
エアバッグの作動により、お子さまに強い力が加わり危険です。



・シートベルトに損傷がある座席には取り付けない。
衝突の際に充分性能が発揮できません。



・チャイルドシートが確実に固定できない座席では使用しない。
衝突の際に充分性能が発揮できません。



・補助座席、幼児専用座席には使用しない。
衝突の際に充分性能が発揮できません。



・チャイルドシートの固定が不完全でシートベルトに“ゆるみ”がある場合は使用しない。
衝突の際に充分性能が発揮できません。



・前向き使用時、背面ロックが掛かっていない状態で使用しない。
衝突の際に充分性能が発揮できません。



ご使用上の注意



危険

誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。

・レッグサポートを収納した状態で使用しない。
衝突の際に充分性能が発揮できません。



・お子さまが立ったり、中腰、正座をした状態では使用しない。
衝突の際に充分性能が発揮できません。



・レッグサポートが車のフロアから離れていないこと。及び物を挟んで使用しない。
衝突の際に充分性能が発揮できません。



・走行中にベッド以外で横向きに使用しない。
衝突の際に充分性能が発揮できません。



・チャイルドシートのバックルを解除した状態で使用しない。
衝突の際に充分性能が発揮できません。



・チャイルドシートを本書及び、本体表示ラベルの説明以外の方法で取り付けない。
衝突の際に充分性能が発揮できません。



警告

誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

- ・お子さまを一人で車内に残さない。
- ・肩ハーネス、腰ハーネスは、ねじれたり、緩んだ状態で使用しない。
- ・腰ハーネスは骨盤上以外で着用しない。
- ・同時に二人以上で使用しない。
- ・緊急時に同乗者の脱出の妨げになる座席にはチャイルドシートを取り付けない。(例:片側スライドアのドア側座席など)
- ・チャイルドシートの底面の一部分にクッション、座布団などを敷かない。
- ・肩ハーネスや腰ハーネス、股ハーネスに損傷、亀裂、焦げなどがある場合は使用しない。
- ・肩ハーネスは、お子さまの肩以外の位置で使用しない。
- ・車の走行中にベルト調節、リクライニングや回転などの操作を行わない。
- ・チャイルドシートを使用中、お子さまにバックルの解除ボタンを触らせない。
- ・お子さまを拘束したままフィットアジャスターの調節操作をしない。
- ・お子さまを拘束したままリクライニング操作をしない。
- ・お子さまの耳の上端部が本体の上端部より上に出る場合は使用しない。
- ・本製品を横向きベッドで使用する時は、車の進行方向に対して直角に使用すること。
- ・バックルに水やジュース、泥水、ゴミなどが入った場合は本製品は使用しない。**衝突の際に充分性能を発揮できません。**

- ・レッグサポートに水やジュース、泥水、ゴミなどが入り高さ調節ができない場合は使用しない。
衝突の際に充分性能を発揮できません。
- ・事故や落下などによる強い衝撃が加わった後は使用しない。
- ・本製品を分解、改造、及び指定部品以外の交換はしない。
- ・シートカバーやクッション材を外したり、他のものと交換したり、破れた状態で使用しない。
- ・本製品のいかなる部品もお子さまの遊び道具として使用させない。
- ・保護者、介添者などが椅子など腰掛けとして使用しない。
- ・梱包袋はお子さまがかぶらないよう放置しない。
- ・パッド類を含む本製品の部品が破損した状態で使用しない。
- ・シートベルトで固定していないチャイルドシートを車内に置かない。また、衝突の際に傷害の原因になるおそれのある荷物などは車内に置かない。
- ・前後のハンドル以外を持って本製品を持ち上げない。
- ・取り外したパッド類、フレックスシェードはトランクルームやカーゴルームに保管し、座席などの乗車空間に放置しない。

・本製品の取り付けや取り扱いに関する不明点がありましたら、弊社お客様サポートセンター(0120-415-814)または、お買い上げの販売店までお問い合わせください。(P77参照)

ご使用上の注意



注意

誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

・チャイルドシートを直射日光にさらさない。

・本体や金属部分などが熱くなり、やけどを負うおそれがあります。

・可動式シートまたは、車のドアにチャイルドシートの本体を挟まない。

・チャイルドシートがシフトレバーやパーキングブレーキなどの操作に支障をきたす座席には取り付けない。

・車の座席が革仕様の場合には、直接取り付けない。(別売の保護マットを使用する。)

・火などの近くに放置したり、長時間屋外に放置しない。

・シートベルトで固定せずに、通常の椅子として使用しない。

・お子さまが乗っていない場合でも、チャイルドシートのタンクはバックルからおかない。

・お子さまにチャイルドシートの取り付けや、操作をさせない。

・チャイルドシートに重量物を載せない。

・砂やほこりの多い場所で使用するとベースなど可動部分に詰まり故障の原因になります。

・本体やパッド類、付属部品の洗浄にはシンナーなどの溶剤を使用しない。

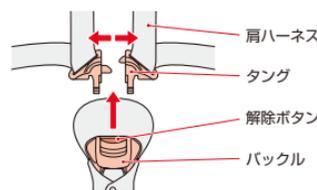
・本体に貼り付けられたシールは、はがさない。

・屋外に放置し、雨などにさらさない。

緊急時のお子さまの降ろしかた

緊急の時はあわてずに…

- ①バックルの解除ボタンを押し、タンクを外す。
- ②肩ハーネスをお子さまから外す。
- ③お子さまをチャイルドシートから降ろす。



バックルからタンクが抜けるときは…

- チャイルドシートの肩ハーネスをシートベルトカッター(市販品)などで切り、お子さまを降ろす。

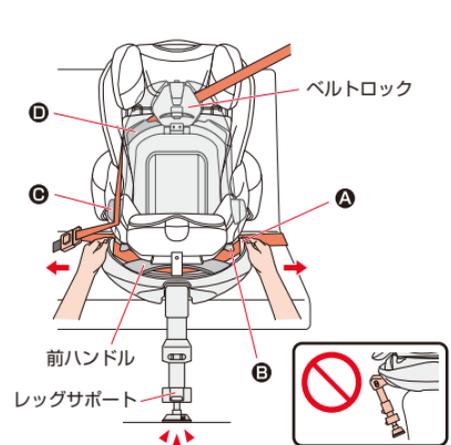


日常の点検

- ・お子さまを乗せる前にチャイルドシートが確実に取り付けられているか確認してください。

確実に固定されていないと、急ブレーキや衝突時などに、チャイルドシートが正しく機能せず、大変危険です。最悪の場合、死亡につながるおそれがあります。

- ・チャイルドシートの本来の機能を果たすため、走行前に各項目を点検してください。



《取り付け後の確認》(P44参照)

- ・車のシートベルトがベルトガイドA・B・C・Dと、前ハンドルの内側を通り、ベルトロックで固定している。
- ・ベースの奥の両側部を両手で持ち、左右に動かしてベース部分が約3cm以上ずれない。
- ・レッグサポートが車のフロアに正しく固定していて、インジケーターが「緑色」になっている。
- ・車のシートベルトに緩み、たるみがない。(シワは問題ありません。)
- ・車のシートベルトのタンクがバックルに差し込まれている。



《横向きベッド使用時》(P50参照)

- ・肩ハーネスが肩に近い位置の肩ハーネス通し穴を通っていること。
- ・肩パッドが引き出されていること。
- ・お子さまの足が座面の先端から出していないこと。
- ・ヘッドサポートのヘッドガードが起こされていること。
- ・腰パッドが取り付けられていること。
- ・デブスアジャスターがショートであること。
- ・フットレストが上がった状態で保持されていること。(一部グレードのみ)



《後向き使用時》(P56参照)

- ・肩ハーネスが肩に近い位置の肩ハーネス通し穴を通っていること。
- ・肩パッドが引き出されていること。
- ・お子さまの骨盤を拘束するように、腰ハーネスを低く下げていること。
- ・デブスアジャスターがショートであること。
- ・フットレストが下がっていること。(一部グレードのみ)



《前向き使用時》(P61参照)

- ・肩ハーネスが肩よりすぐ上の肩ハーネス通し穴を通っていること。
- ・肩パッドが引き出されていること。
- ・お子さまの骨盤を拘束するように、腰ハーネスを低く下げていること。
- ・ロックピンが入っていることを目視で確認すること。
- ・背面ロックがロックされていることを手で動かして確認すること。
- ・フットレストが下がっていること。(一部グレードのみ)



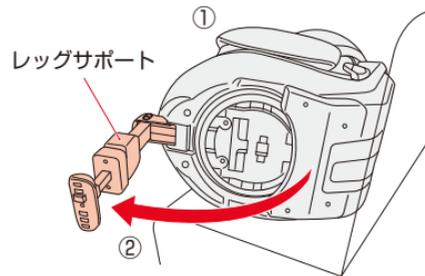
警告

・バックルに水やジュース、泥水、ゴミなどが入った場合は本製品は使用しない。衝突の際に充分性能を発揮できません。(P74参照)

レッグサポートの使いかた

- 1** ①作業するスペースを十分に確保し、本体を横に寝かせる。
②レッグサポートを起こす。

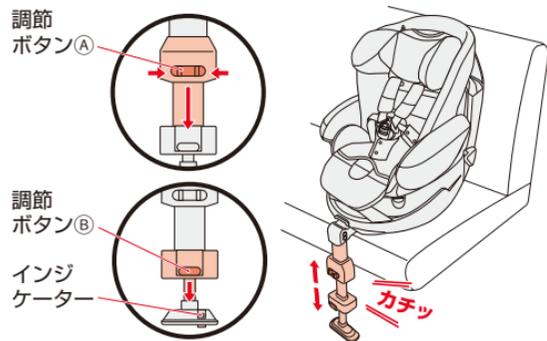
・出荷時は最も短い状態の長さになっています。
・レッグサポートを収納するときは最も短い状態の長さに合わせてください。



警告 レッグサポートを起こすときは、可動部に指を近付けない。可動部で挟まれ重傷を負うおそれがあります。

注意 チャイルドシートを周囲のものにぶつけないように注意してください。

- 2** ①調節ボタン(A)を押してフロアにしっかり接するまで長さを調節する。
②フロアにしっかり接しない時は、調節ボタン(B)を押して長さを調節する。
③インジケーターが「緑色」であることを確認する。



・レッグサポートが正しく固定されていることを確認する。
・チャイルドシートを車から外して移動させる際は逆の手順で行ってください。

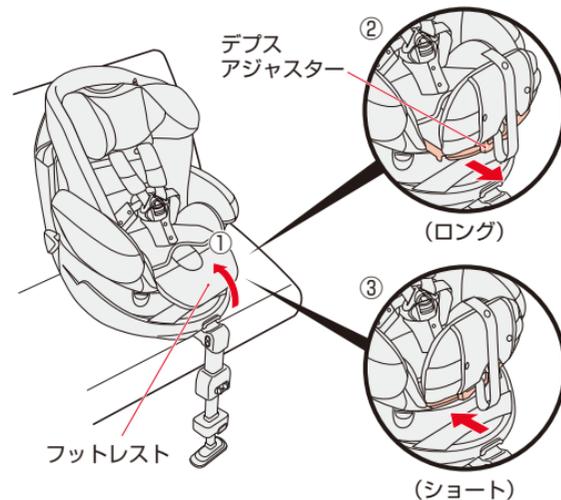
警告 ・レッグサポートが正しく固定されていること。衝突の際に充分性能を発揮できません。
・レッグサポートが車のフロアから離れていないこと。衝突の際に充分性能を発揮できません。

デプスアジャスター(奥行き調節座面)の使いかた

横向きベッド、後向きはショートで使用し、前向きは、お子さまの成長に合わせてデプスアジャスター(奥行き調節座面)を引き出しロングにする。

＜調節のしかた＞

- ①フットレストを起こす。(一部グレードのみ)
②デプスアジャスターを引き出し、ロングにする。
③デプスアジャスターを押し込み、ショートにする。



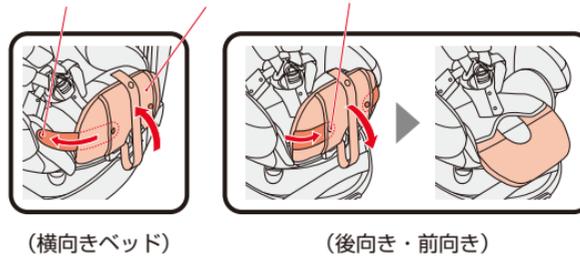
前向きご使用时、デプスアジャスターは体格に合わせてどちらでもご使用いただけます。座面に深く座った状態で座面先端がふくらはぎに強く当たる場合はショートでのご使用をおすすめします。ロングへの切り替えは3歳くらいが目安です。



＜フットレストの使いかた＞(一部グレードのみ)

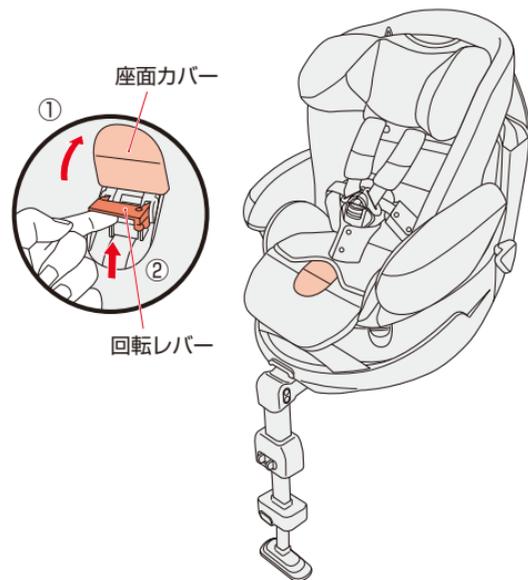
- ①横向きベッド時はフットレストを起こし、収納ホックを外し、固定用ホックにとめる。
②後向き・前向き時は固定用ホックを外し、収納ホックにとめ、フットレストを寝かす。

固定用ホック フットレスト 収納ホック

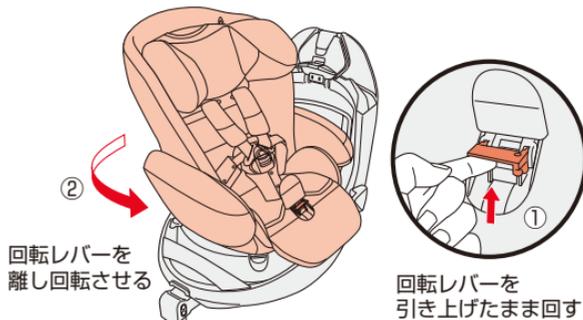


回転のしかた

- 1** ①座面カバーをめくる。
②回転レバーを引き上げる。



- 2** ①回転レバーを引き上げたままシート部を回す。
②動き始めたら回転レバーから手を離して回転させる。



警告 回転操作時は、可動部に手や指、お子さまの足などを近づけない。可動部で挟まれ重傷を負うおそれがあります。

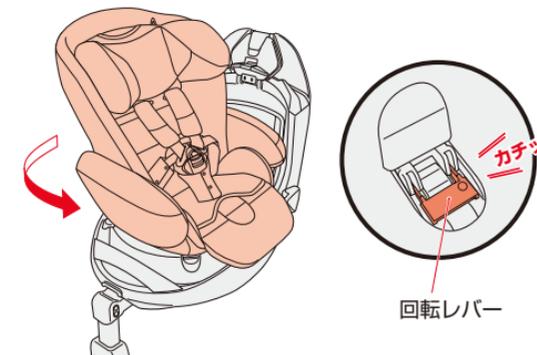
注意 リクライニングが2段目(後向き専用)の時に前向きに回転させないでください。

- 3** 横向きになると、回転レバーが戻り、シート部がロックされます。



回転レバーを離さないでロックされません。

〈横向き〉



危険 走行時に横向きはベッド以外で使用しない。衝突の際に十分な性能を発揮しません。

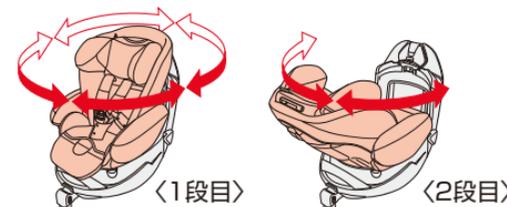
- 4** シート部を左右にゆすり、回転がロックされていることを確認する。

・確実にロックされていることを確認する。回転レバーが戻らないとリクライニングの操作が行えません。



・回転後、回転レバーが戻り、シート部が固定されていること。衝突の際に充分性能を発揮できません。
・車の走行中にベルト調節、リクライニングや回転などの操作を行わない。
・回転操作時は、可動部に座っているお子さまの手、指、足などを近づけない。可動部で挟まれ重傷を負うおそれがあります。

〈リクライニングの段数による回転できる範囲〉

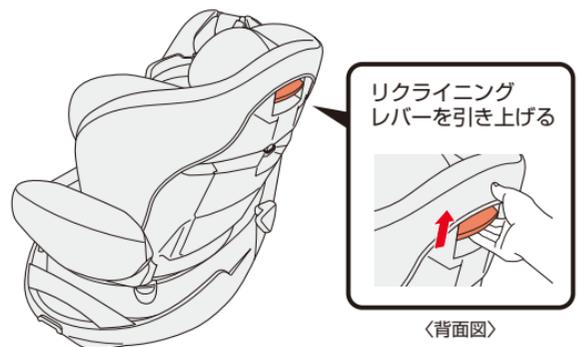


・長時間使用されない時や保管の時には、回転レバーが正しくロックされているか確認してください。故障の原因になります。

取り付ける前に

リクライニングのしかた（横向きベッド・後向きのみ）

1 リクライニングレバーを引き上げる。



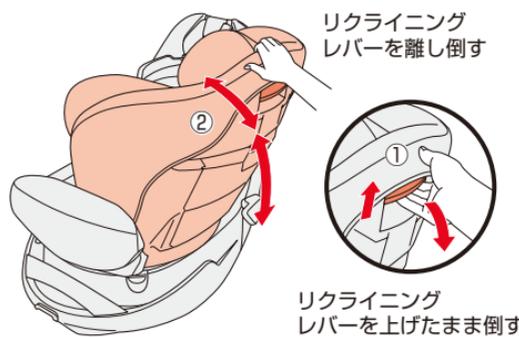
危険

- ・走行時に横向きはベッド以外で使用しない。衝突の際に充分な性能を発揮しません。

警告

- ・お子さまを乗せたままでリクライニング操作をしない。肩ハーネスが締め重傷を負うおそれがあります。

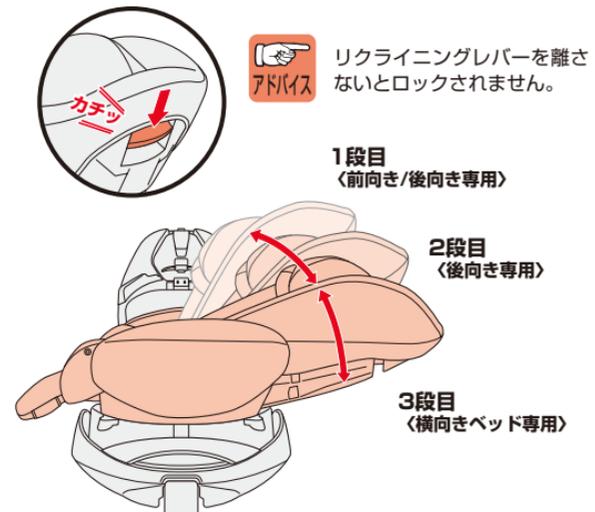
2 ①リクライニングレバーを引き上げたまま背もたれを倒す。
②動き始めたらリクライニングレバーから手を離して倒す。



警告

- ・リクライニング操作時は、可動部に手や指などを近づけない。可動部で挟まれ重傷を負うおそれがあります。
- ・リクライニング操作時は、座面の隙間に手や指などを近づけない。隙間で挟まれ重傷を負うおそれがあります。

3 背もたれが2段（後向き）、3段（横向きベッド）になると、リクライニングレバーが戻りロックされます。



警告

- ・車の走行中にベルト調節、リクライニングや回転などの操作を行わない。

4 シート部を上下にゆすり、正しく固定されていることを確認する。

・確実にロックされていることを確認する。リクライニングレバーが戻らないと回転の操作が行えません。

警告

・操作後、リクライニングレバーが戻り、シート部が固定されていること。
衝突の際に充分な性能を発揮できません。

ロックしていません

・右図の「ロックしていません。」シールが見えている場合はレバーが戻っていない状態です。シート部をゆすり、レバーを戻し、ロックしてください。

アドバイス

リクライニングが起こしにくい場合は、肩ハーネスをゆるめてください。（P27参照）

肩ハーネス

取り付ける前に

肩ハーネス位置の目安

- ・各ポジションにより、使用する肩ハーネス位置が異なります。
- ・お子さまの体格にあわせて、フィットアジャスターを5段階で調節してください。



危険

・体重の条件を満たしていないお子さまには使用しない。

- ・お子さまの肩の高さに合わせて調節してください。
- ・パッド類の取り付けが必要です。お子さまの発育状況により使用してください。（P28～P30参照）

■横向きベッド使用时

肩に近い位置の肩ハーネス位置を使用する。

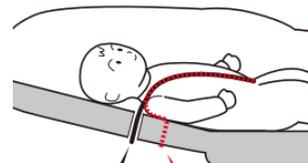
〈フィットアジャスターの位置〉

(ヘッドレスト)

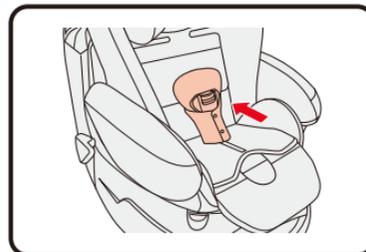
- ・1～3段目まで使用可能。

〈股ハーネスの位置〉

・股ハーネスを最も後に下げた位置で使用する。



・お子さまの肩から遠い肩ハーネス通し穴を使用しない。衝突の際に充分性能を発揮できません。



■後向き使用时

肩に近い位置の肩ハーネス位置を使用する。

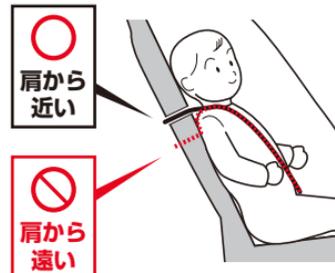
〈フィットアジャスターの位置〉

(ヘッドレスト)

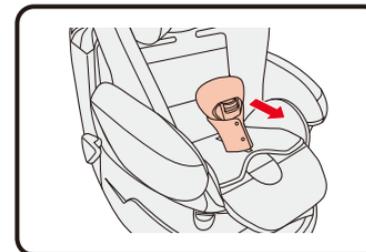
- ・2～4段目まで使用可能。

〈股ハーネスの位置〉

・股ハーネスを最も前に出した位置で使用する。



・お子さまの肩から遠い肩ハーネス通し穴を使用しない。衝突の際に充分性能を発揮できません。



■前向き使用时

肩よりすぐ上の肩ハーネス位置を使用する。

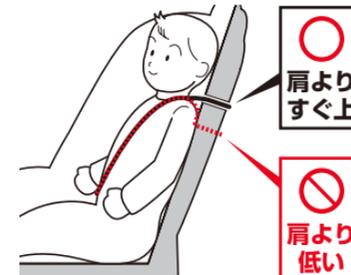
〈フィットアジャスターの位置〉

(ヘッドレスト)

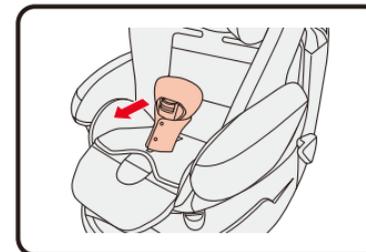
- ・3～5段目まで使用可能。

〈股ハーネスの位置〉

・股ハーネスを最も前に出した位置で使用する。



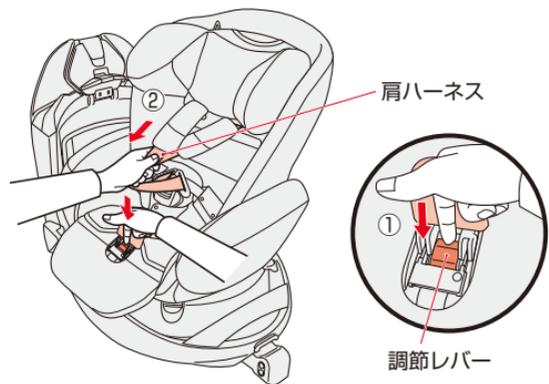
・お子さまの肩より低い肩ハーネス通し穴を使用しない。衝突の際に充分性能を発揮できません。



肩ハーネス位置(ヘッドレスト部の高さ)の調節のしかた

・肩ハーネス位置(ヘッドレスト部の高さ)は、5段階に調節できます。ただし、お子さまをハーネスで拘束した後は調節しないでください。

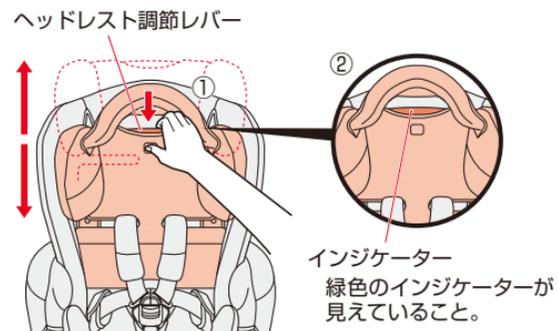
- 1**
- ①座面カバーをめくり、調節レバーを押す。
 - ②調節レバーを押したまま肩ハーネスを手前に引き、ゆるめる。



アドバイス 肩ハーネスを緩める際は、肩パッドを持って引っ張らないでください。重く感じる際は、片方ずつ引っ張ってください。



- 2**
- ①ヘッドレスト調節レバーを押し、ヘッドレスト部の高さを調節する。
 - ②ヘッドレスト調節レバーが戻り、ヘッドレスト部が固定されていることをインジケーターで確認する。



注意 ・お子さまを拘束したまま肩ハーネス位置の調節しない。

パッドの使いかた

・お子さまの発育状況により下記の表を参考に使用してください。
 ・ご購入いただいた商品により付属品が異なります。(P5参照)

	ヘッドガード	肩パッドカバー	腰パッド	ヒップインナーシート
○ : 必ず取り付けてください。 ○ : 取り外し可能です。	 <起こした状態>			 <DX>
	 <倒した状態>			 <STD>
横向きベッド	起こす	○	○	○
後向き	起こす/倒す	○	○	○
前向き	倒す	○	○	○

警告 ・本製品のいかなる部品もお子さまの遊び道具として使用させない。
 ・取り外したパッド類、フレックスシェードはトランクルームやカーゴルームに保管し、座席などの乗車空間に放置しない。

注意 ・パッド類を強く折り曲げたり、刃物などで切ったりしないでください。
 ・パッド類を取扱説明書記載の目的以外で使用しないでください。

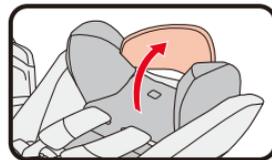
取り付ける前に

パッドの使いかた

1 <ヘッドガードの使いかた>

<ヘッドガードを起こして使用するとき>

・横向きベッド、後向き使用時。



・ヘッドガードを起こす。

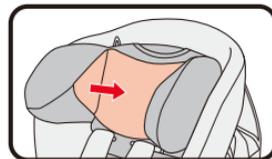


警告

・ヘッドガードを起こした状態で前向きで使用しない。(P28参照)
衝突の際に充分性能を発揮しません。

<ヘッドガードを倒して使用するとき>

・後向き、前向き使用時。



・ヘッドガードをしっかりと押し込む。

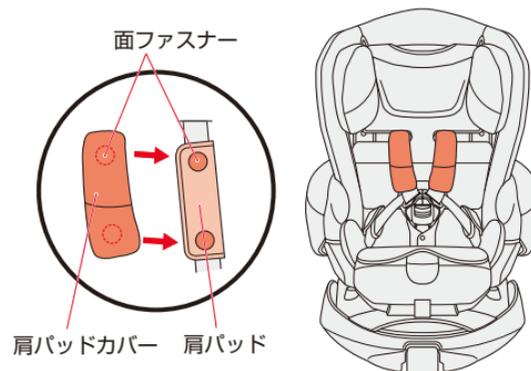


警告

・ヘッドガードを倒した状態で横向きベッドで使用しない。(P28参照)
衝突の際に充分性能を発揮しません。

2 <肩パッドカバーの取り付け>(一部グレードのみ)

肩パッドカバーと肩パッドそれぞれの面ファスナー(2カ所)を合わせて取り付け。取り付け後は肩パッドカバーを引っ張り確実に取り付けられていることを確認する。



注意

・肩パッドは外せません。

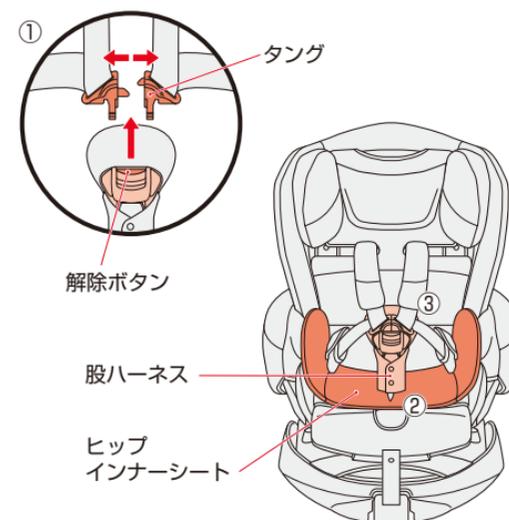
3 <腰パッドの取り付け>

腰パッドを腰ハーネスに巻き付け、ホックをとめる。



4 <ヒップインナーシートの取り付け>(一部グレードのみ)

- ①バックルの解除ボタンを押し、タングを外す。
- ②股ハーネスを通し穴に通す。
- ③タングをバックルに差し込む。



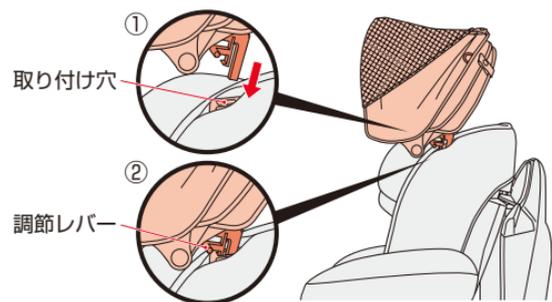
取り付けの前に

フレックスシェードの使いかた

付属品としてフレックスシェード(日除け)が同梱されております。
日差しなどを防ぎたい時に本製品に取り付けてお使いください。

5 <フレックスシェードの取り付け>(一部グレードのみ)

- ①フレックスシェードを取り付け穴に差し込む。
- ②固定されていることを確認する。



・取り外すときは、調節レバーを押し下げフレックスシェードを引き抜いてください。



・フレックスシェードが左右共に正しく固定されていること。衝突の際に、お子さまの顔などに当たり重傷を負うおそれがあります。



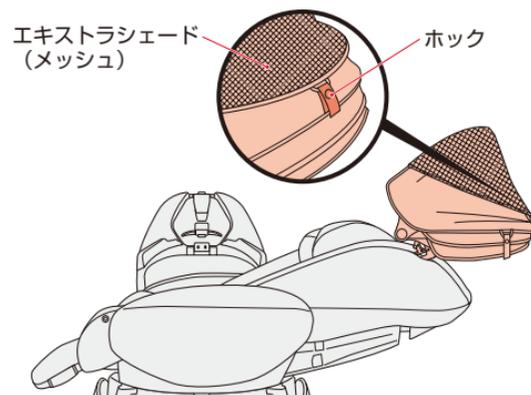
・窓を大きく開けて走行するなど、車内に風が強く吹き込む状態では使用しないでください。

6 <フレックスシェードの使いかた>

横向きベッド時の使いかた (4Way)

<1 段目使用時>

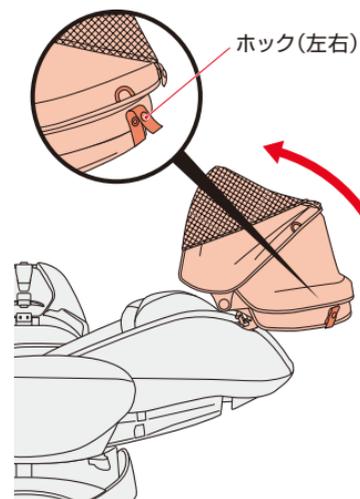
- ・エキストラシェード(メッシュ)がフックでとまっていることを確認する。



・エキストラシェード(メッシュ)を使用しない時は、フックでとめておくこと。衝突などの際に、お子さまの顔などに当たり重傷を負うおそれがあります。

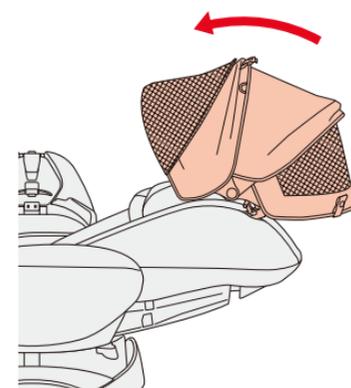
<2 段目使用時>

- ・フレックスシェードの左右のフックを外し、矢印の方向に開く。



<3 段目使用時>

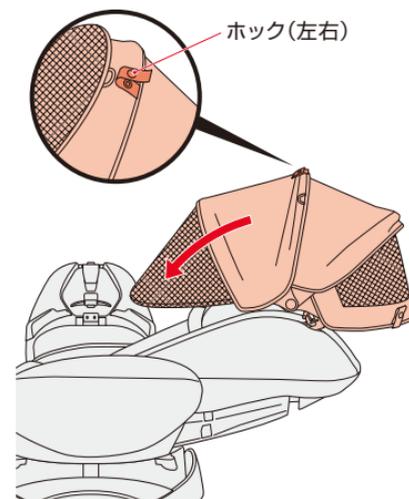
- ・フレックスシェードを矢印の方向に開く。



<エキストラシェード(メッシュ)使用時>

(フレックスシェード DXのみ)

- ・エキストラシェード(メッシュ)のフックを外し、矢印の方向に開く。

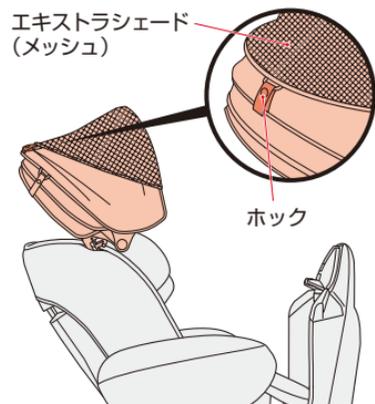


フレックスシェードの使いかた

後向き時の使いかた (3Way)

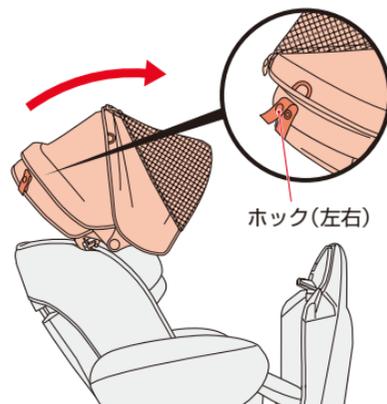
<1段目使用時>

- ・エクストラシェード(メッシュ)がフックでとまっていることを確認する。



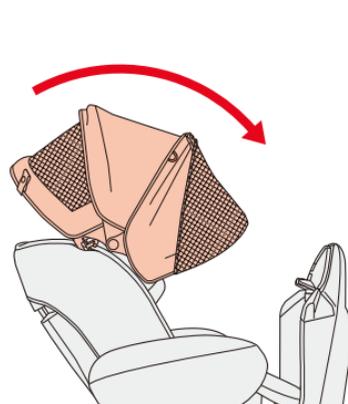
<2段目使用時>

- ・フレックスシェードの左右のフックを外し、矢印の方向に開く。



<3段目使用時>

- ・フレックスシェードを矢印の方向に開く。



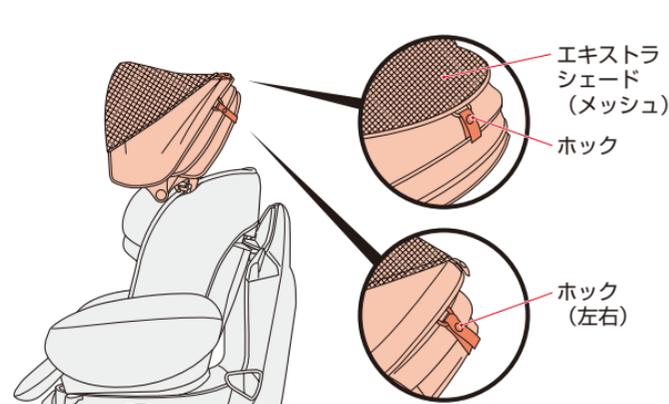
警告

- ・後向き時はエクストラシェード(メッシュ)を使用しない。
ベルトロックとエクストラシェード(メッシュ)が干渉し、ベルトロックが解除されるおそれがあります。

前向き時の使いかた

<1段目使用時>

- ・エクストラシェード(メッシュ)がフックでとまっていることを確認する。
- ・フレックスシェードを左右のフックでとめ、1段目で固定されていることを確認する。

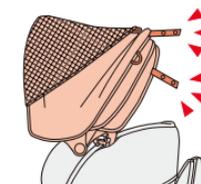


警告

- ・前向き時はフレックスシェードの1段目以外で使用しない。
衝突の際に、お子さまの顔などに当たり重傷を負うおそれがあります。



- ・お子さまの頭がフレックスシェードに接触する場合はフレックスシェードを使用しない。
衝突の際に、お子さまの顔などに当たり重傷を負うおそれがあります。
- ・エクストラシェード(メッシュ)を使用しない時は、フックでとめておくこと。
- ・フレックスシェードをフックでとめずに前向きで使用しない。
衝突の際に、お子さまの顔などに当たり重傷を負うおそれがあります。



取り付け準備

- お子さまの安全性を高めるために、運転席より後ろの列の座席に取り付けることをお奨めいたします。
- 本書では、左後部座席に取り付ける場合を例として説明しています。
- 2列目中央の座席には取り付けない。
- 車の座席形状やシートベルトの種類により、取り付け出来ない場合があります。詳しくはP10～P13を参照してください。



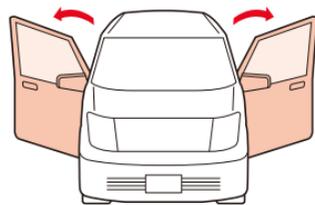
危険

- ・フロントエアバッグ装備車の助手席には本製品を取り付けない。
- ・チャイルドシートが確実に固定できない座席では使用しない。
- ・シートベルトに損傷がある座席には取り付けない。
- ・補助座席、幼児専用座席には使用しない。
- ・レッグサポートを収納した状態で取り付けない。
衝突の際に充分性能を発揮できません。

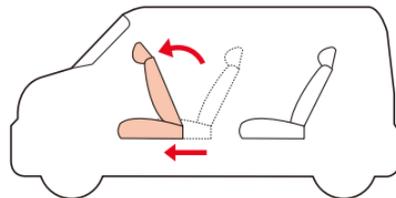
1

＜取り付け作業のスペース確保＞

- ①取り付け作業は、ドアの全開閉が可能な、広く平らな場所で行ってください。



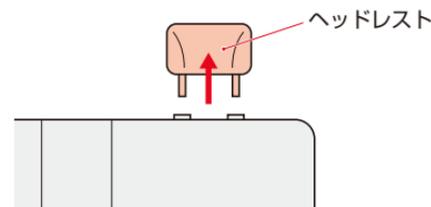
- ②作業前に前座席を倒したり、スライドさせることで車内での作業スペースを確保できます。



2

＜取り付ける座席の準備＞

- ①ヘッドレストが取り外せる場合は取り外す。
②取り外したヘッドレストはトランクルームやカーゴルームに保管すること。

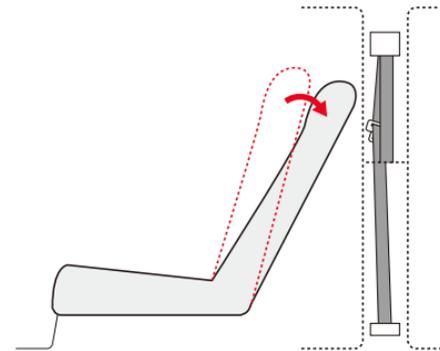


警告

- ・緊急時に同乗者の脱出の妨げになる座席にはチャイルドシートを取り付けない。
- ・車のヘッドレストがチャイルドシートのベルトロックレバーに干渉した状態で取り付けない。
ベルトロックが解除されるおそれがあり、衝突の際に充分性能を発揮できません。
- ・取り外したヘッドレストを座席などの乗車空間に放置しない。衝突などの際に重傷を負うおそれがあります。



- ③背もたれがリクライニングする場合は少し後方へ倒す。



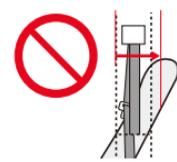
アドバイス

- ・あらかじめクリップなどでシートベルトを全て引き出し仮止めしておくことで取り付け作業がやり易くなります。取り付け作業終了後は、必ずクリップを外してください。



警告

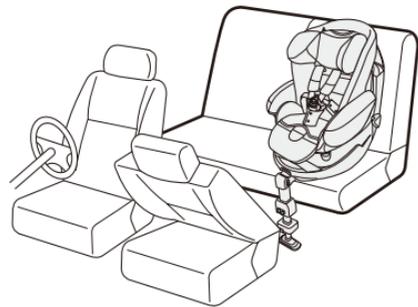
- ・車の座席がスライドできる場合は、座席の背もたれの上部がシートベルトの上部取り付け位置より後方にしない。
衝突の際に充分性能を発揮できません。



取り付けかた

- ・本製品は、横向きベッド、後向き、前向きの3通りの使用方法がありますが、車への取り付けかたは共通です。車への取り付けが完了した後で、お子さまの体重に合わせてご使用ください。
- ・本書では助手席側後部座席での取り付けかたを説明しています。運転席側では取り付けかたが左右逆になります。

1 <チャイルドシートをのせる> チャイルドシートを車の後部座席にのせる。



お子さまの安全性を高めるために、運転席より後ろの座席に取り付けることをお奨めいたします。

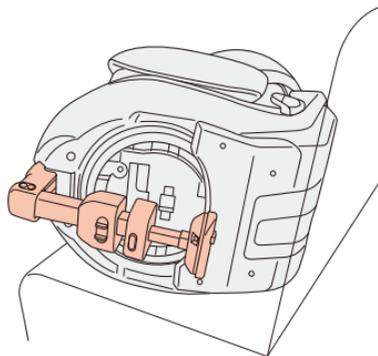


・車の座席が革仕様の場合には直接のせない。
(別売のシート保護マットをご使用ください。)
座席の革をいためるおそれがあります。



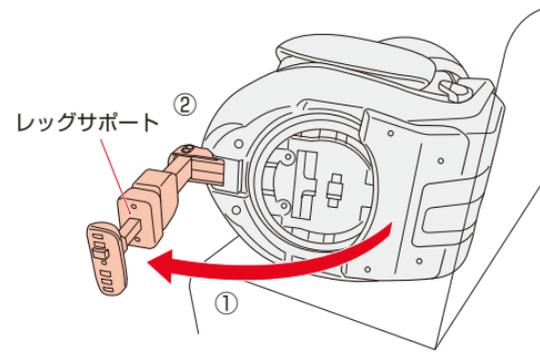
シート保護マット

2 <チャイルドシートを寝かせる> 作業するスペースを十分に確保し、本体を横に寝かせる。



・チャイルドシートを周囲のものにぶつけないように注意してください。

3 <レッグサポートを起こす> ①レッグサポートを起こす。 ②レッグサポートが正しく固定されていることを確認する。

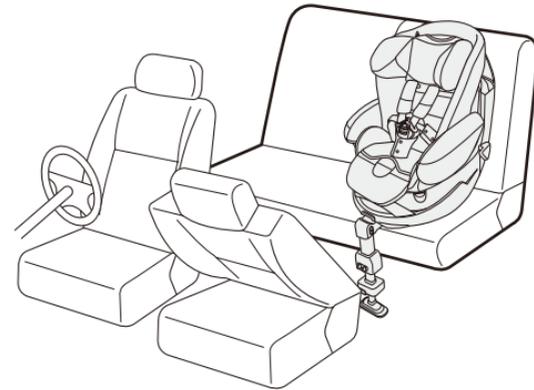


・レッグサポートが正しく固定されていることを確認する。



・可動部に手や指などを近づけない。
可動部で挟まれ重傷を負うおそれがあります。

4 <チャイルドシートをのせる> チャイルドシートを車の後部座席にのせる。



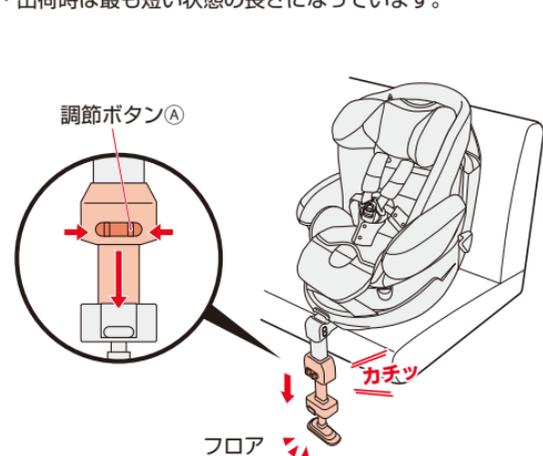
・チャイルドシートを周囲のものにぶつけないように注意してください。

取り付けかた

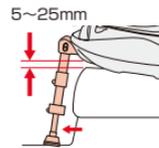
5 <レッグサポートの長さを調節する>

- ①調節ボタン(A)を押してフロアにしっかり接するまで長さを調節する。

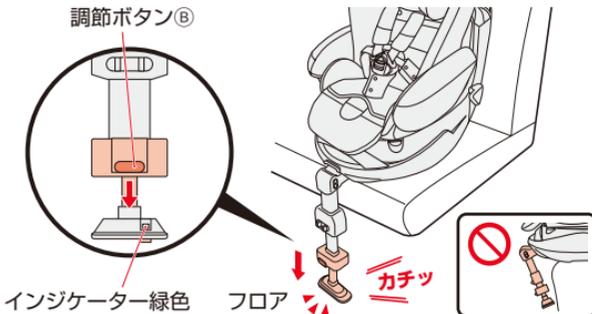
・出荷時は最も短い状態の長さになっています。



- ・座席から少し浮かせてください。(5~25mm程度)
- ・レッグサポートは前方へ傾けた状態で接地させてください。



- ②フロアにしっかり接しない時は、調節ボタン(B)を押して長さを調節する。
- ③インジケーターの緑色を確認する。



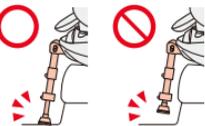
- ・レッグサポートが正しく固定されていることを確認する。
- ・調節ボタンが「カチッ」とロックされていることを確認する。



座面との隙間が5~25mmにならない場合は調節ボタン(B)を押して長めに調節した後、調節ボタン(A)を押して調節してください。

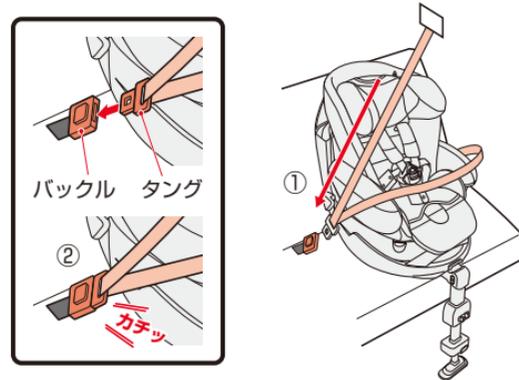


警告
・レッグサポートが正しく固定され、車のフロアから離れていないこと。
衝突の際に充分性能を発揮できません。



6 <車のシートベルトを取り付ける>

- ①シートベルトを引き出す。
- ②シートベルトのタングをバックルに差し込む。



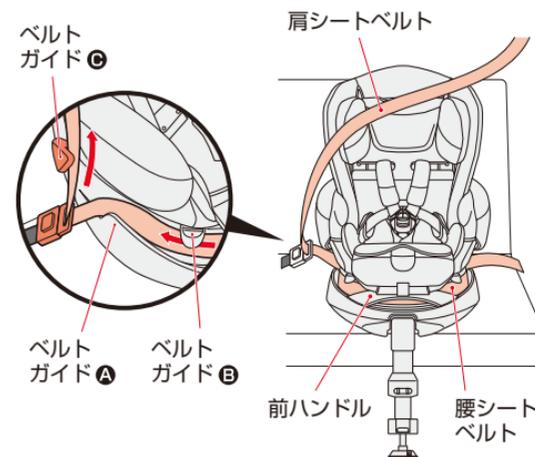
・ALR/ELR(チャイルドロック機構付)のシートベルトの場合は、ロックがかかるとシートベルトを引き出せなくなります。この場合、シートベルトを全てもどすと、チャイルドシート固定機構が解除されます。(P12参照)



警告
・シートベルトにねじれがないこと。
衝突の際に充分性能を発揮できません。

7 <腰シートベルト・肩シートベルトを通す>

- 腰シートベルトを左右のベルトガイド(A、B)、前ハンドルの内側に、肩シートベルトをベルトガイド(C)の内側に通す。

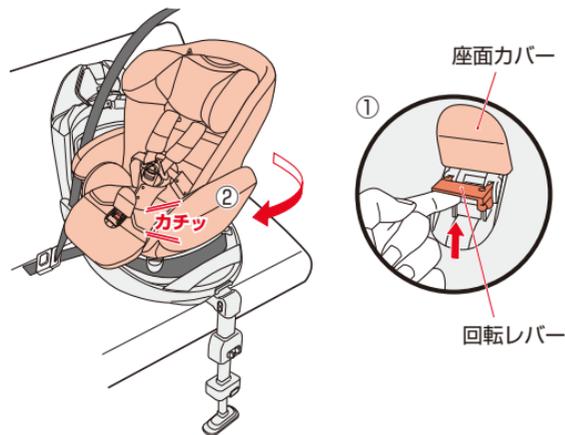


警告
・腰シートベルトにねじれ、たるみがないこと。
衝突の際に充分性能を発揮できません。

取り付けかた

8 <シート部を横向きにする>(P21 参照)

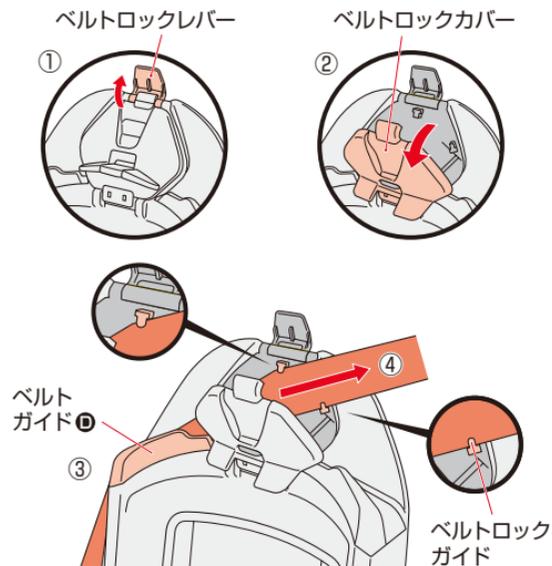
- ①座面カバーをめくり、回転レバーを引き上げる。
- ②横向きに回転させる。



・回転操作時は、可動部に手や指、お子さまの足などを近づけない。
可動部で挟まれ重傷を負うおそれがあります。

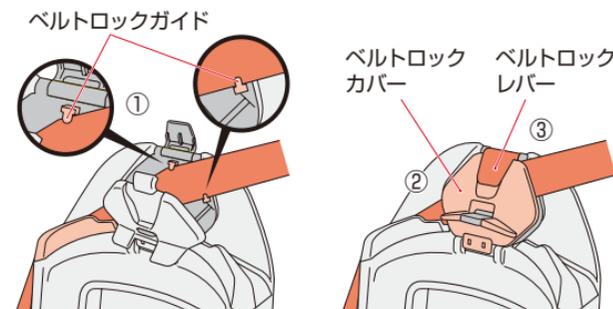
9 <ベルトロックを開き、肩シートベルトを通す>

- ①ベルトロックレバーを解除する。
- ②ベルトロックカバーを開く。
- ③肩シートベルトをベルトガイド④に通す。
- ④左右のベルトロックガイドの下に通す。



10 <ベルトロックを閉じる>

- ①肩シートベルトが左右のベルトロックガイドの下を通っていることを確認する。
- ②肩シートベルトを引いたまま、ベルトロックカバーを閉じ、ロックする。
- ③ベルトロックレバーがしっかりロックされていることを確認する。



・肩シートベルトが左右のベルトロックガイドの下を通らず正しくセットされていないと、肩シートベルトの締め付けが行えない場合があります。その場合はベルトロックをロックし直してください。



・肩シートベルトがたるんだ状態で使用しない。
衝突の際に充分性能を発揮できません。



11 <肩シートベルトをしめつける>

- ①ベースを座席の背もたれに押しつける。
- ②ベースを押ししたまま肩シートベルトを強く引く。



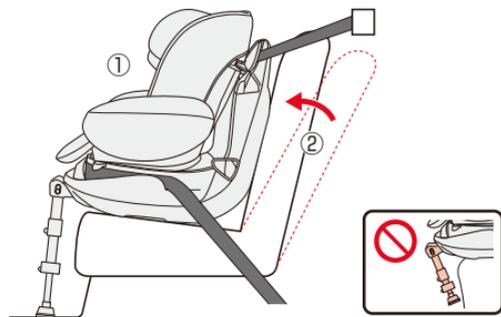
・肩シートベルトにねじれ、たるみがないこと。
衝突の際に充分性能を発揮できません。

取り付けかた

12

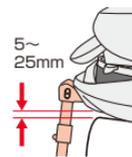
〈座席の背もたれを起こす〉

- ① 本体を前向きにする。
- ② 座席の背もたれをベースに強く当たるまで起こす。(可能な車の場合)



・車の座席がリクライニングできない場合は、ベースと座席の背もたれが接していること。

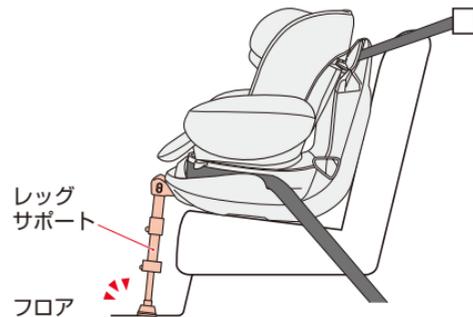
・ベースと座席の隙間が 5~25mm の範囲であること。隙間が 25mm 以上のときは、レッグサポートがフロアから浮いた場合はシートベルトを取り外して、レッグサポートの長さを調節し直してください。(P39 参照)



13

〈レッグサポートを確認する〉

レッグサポートが車のフロアに正しく固定されていることを確認する。



・必ず取り付け後の確認を行ってください。(P44 参照)

警告

・チャイルドシートと座席の背もたれに大きな隙間が生じる場合は使用しない。衝突の際に充分性能を発揮できません。座席のリクライニングを使用して隙間を減らしてください。



大きな隙間

取り付け後の確認

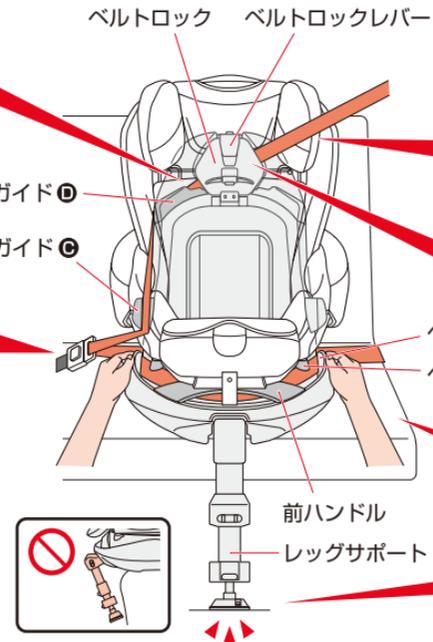
- ・取り付けが終わったら、チャイルドシートが正しく固定されていることを必ず確認する。正しく固定されていないと、衝突などの際に、充分性能を発揮できません。



車のシートベルトに緩み、たるみがない。(シワは問題ありません。)

車のシートベルトのタングがバックルに差し込まれている。

・全て確認し、正しく固定できていない場合は、もう一度 P37~P43 の手順で取り付け直してください。



車のシートベルトがベルトガイドA・B・C・D、前ハンドルの内側を通り、ベルトロックで固定されている。

ベルトロックレバーがロックされている。(P42 参照)

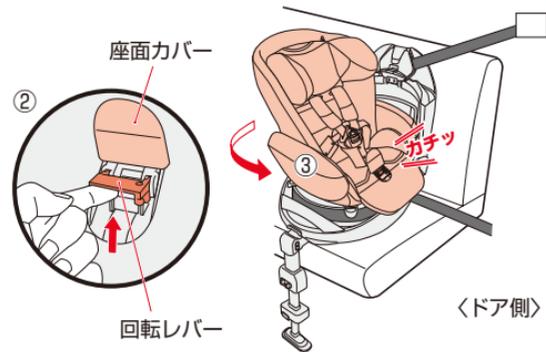
ベースの奥の両側部を両手で持ち、左右に動かしてベース部分が約 3cm 以上ずれない。

レッグサポートが車のフロアに正しく固定されていて、インジケータが「緑色」になっている。

横向きベッドにする 〈体重：2.5kgから 9kg未満〉 (P9「お子さまの条件」参照)

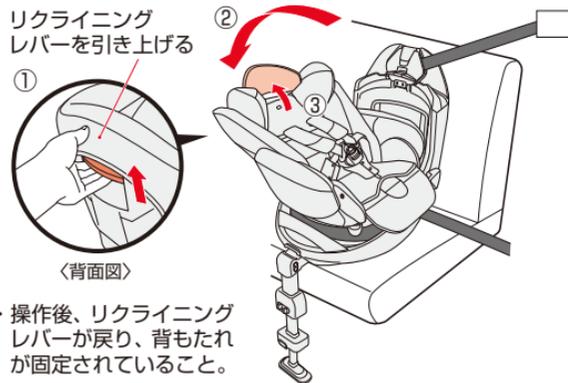
危険 ・走行時に横向きはベッド以外で使用しない。
衝突の際に充分な性能を発揮しません。

- 1** **〈シート部正面をドア側に回転させる〉**(P21 参照)
① お子さまが乗っている場合は、お子さまを降ろす。
② 座面カバーをめくり、回転レバーを引き上げる。
③ シート部を横向きに回転させる。



警告 ・本製品を横向きベッドで使用する時は、ベッドを車の進行方向に対して横になるようにして使用すること。
・お子さまを乗せたままリクライニング操作をしない。
重傷を負うおそれがあります。
・回転後、回転レバーが戻り、シート部が固定されていること。
衝突の際に充分な性能を発揮できません。

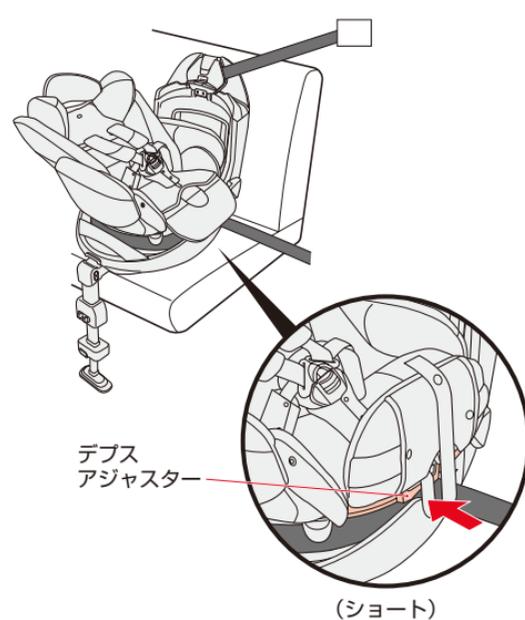
- 2** **〈背もたれを倒す〉**(P23 参照)
① リクライニングレバーを引き上げる。
② 背もたれを3段目〈横向きベッド専用〉にする。
③ ヘッドガードを起こす。



警告 ・操作後、リクライニングレバーが戻り、背もたれが固定されていること。
・リクライニング・回転操作時は、可動部にお子さまの手や指などを近づけないこと。
可動部で挟まれ重傷を負うおそれがあります。
・リクライニングレバーが戻らない状態で使用しない。
衝突の際に充分な性能を発揮できません。

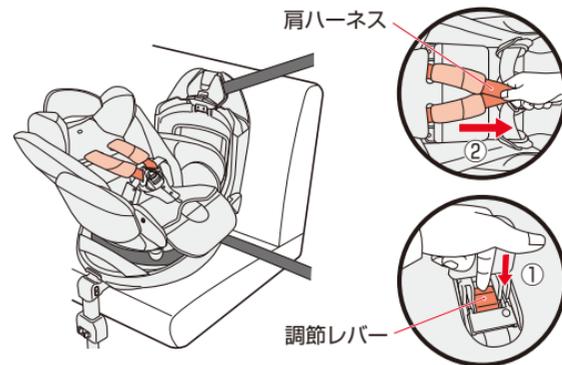
横向きベッドのお子さまの乗せかた 〈体重：2.5kgから 9kg未満〉

- 1** **〈デプスアジャスター(奥行き調節座面)の確認〉**
デプスアジャスターがショートになっていることを確認する。



- 2** **〈肩ハーネスをゆるめる〉**
① 座面カバーをめくり、調節レバーを押す。
② 調節レバーを押したまま肩ハーネスを手前引き、ゆるめる。

アドバイス ・ヘッドガードが起こされていること。(P29 参照)
・腰パッドが取り付けられていること。(P30 参照)



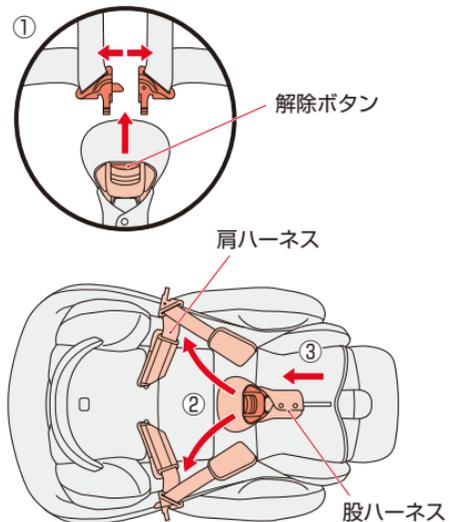
アドバイス 肩ハーネスをゆるめる際は、肩パッドを持って引っ張らないでください。
重く感じる際は、片方ずつ引っ張ってください。

横向きベッドのお子さまの乗せかた (体重：2.5kgから 9kg未満)

3

〈タングを外す〉

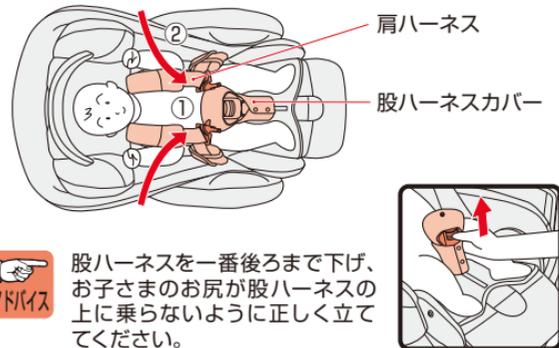
- ①バックルの解除ボタンを押し、タングを外す。
- ②肩ハーネスを左右に開く。
- ③股ハーネスを一番後ろまで下げる。(P25 参照)



4

〈お子さまを乗せる〉

- ①お子さまの股間と股ハーネスカバーが接するよう中央に寝かせる。
- ②お子さまの肩に肩ハーネスを掛ける。



・肩ハーネスは、真上から見て肩に近い位置の肩ハーネス位置に調節していること。(P25参照)

警告

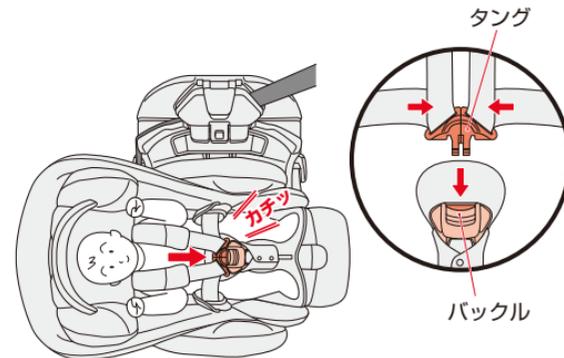
- ・お子さまの足が座面の先端から出る場合は横向きベッドで使用しない。
ドアなどに足があたり、重傷を負うおそれがあります。



5

〈タングを差し込む〉

- 左右のタングを組み合わせ、「カチッ」とバックルに固定されるまで差し込む。



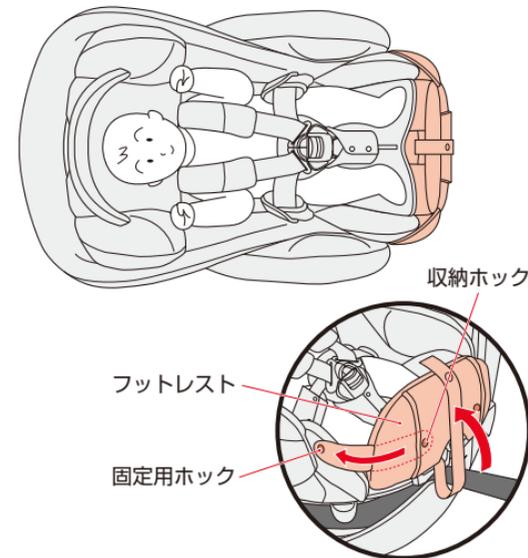
警告

- ・タングをバックルに差し込む時は、差し込み口付近に指や手を近づけない。
手や指などが挟まれ重傷を負うおそれがあります。
- ・タングをバックルに差し込む時、「カチッ」と音がしない場合は本製品を使用しない。
衝突の際に充分性能を発揮できません。
- ・バックルに水やジュース、泥水、ゴミなどが入った場合は本製品は使用しない。(P74参照)
衝突の際に充分性能を発揮できません。

6

〈フットレストを起こす〉(一部グレードのみ)

- フットレストを起こし、収納ホックを外し、固定用ホックにとめる。

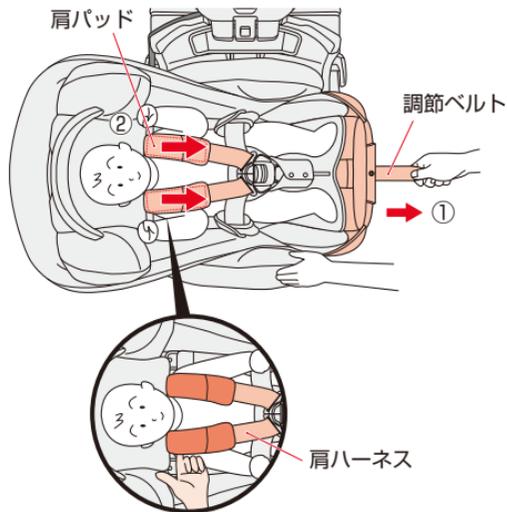


横向きベッドのお子さまの乗せかた （体重：2.5kgから 9kg未満）

7

＜肩ハーネスを短く調節する＞

- ①調節ベルトを引き、肩ハーネスを締める。
- ②肩パッドを引き出す。



アドバイス お子さまの鎖骨と肩ハーネスの間に指が1本入る程度が適切です。

警告

- 肩ハーネス、腰ハーネスは、ねじれたり、緩んだ状態で使用しない。また、腰ハーネスは骨盤上以外で着用しない。
衝突の際に充分性能を発揮できません。

注意

- 調節ベルトのホックがフットレスト裏側のホックにとまっていること。
外れた状態で本体を回転させると調節ベルトが巻き込まれるおそれがあります。

＜DX・HIDX＞ ＜STD＞

横向きベッド使用時の確認 （もう一度ご確認いただきたい項目です。）

警告

- 肩ハーネス、腰ハーネスは、ねじれたり、緩んだ状態で使用しない。また、腰ハーネスは骨盤上以外で着用しない。衝突の際に充分性能を発揮できません。
- 正しく取り付けられたパッド類以外の物をチャイルドシート内におかない。衝突の際に充分性能を発揮できません。



肩に近い位置の肩ハーネス通し穴を通っていること。

肩パッドが引き出されていること。

腰パッドが取り付けられていること。

お子さまの頭の位置が車の中央側に向いていること。

お子さまを中央に寝かせていること。

ヘッドガードが起こされていること。

タンクがバックルに「カチッ」と音がするまで差し込めていること。

ヘッドレスト下部のふくらみをお子さまの首の後ろに合わせること。

バックルが股ハーネスカバーよりはみ出さないこと。

股ハーネスが一番後ろまで下がっていること。

お子さまの足が座面の先端から出していないこと。

・正しくできていない場合は、もう一度 P45～P49 の手順をやり直してください。
・車のシートベルトにお子さまを乗せる前と比べて大きな緩みがないこと。

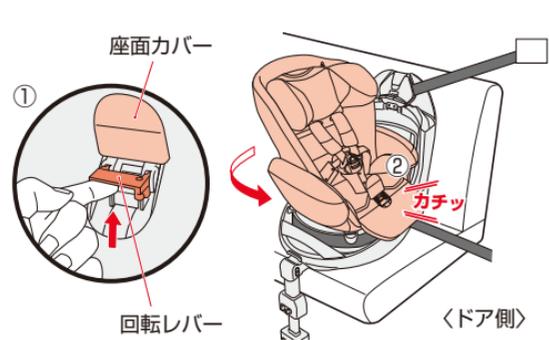
後向きのお子さまの乗せかた

〈首すわりから 13kg未満〉
(P9「お子さまの条件」参照)

- 1** 〈シート部正面をドア側に回転させる〉(P21 参照)
- ①座面カバーをめくり、回転レバーを引き上げる。
 - ②シート部を横向きに回転させる。



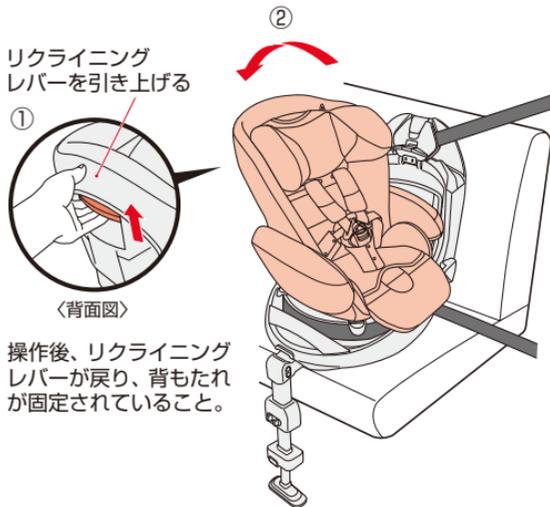
ヘッドガードは倒しても起こしても使用できます。



危険 走行時に横向きはベッド以外で使用しない。
衝突の際に十分な性能を発揮しません。

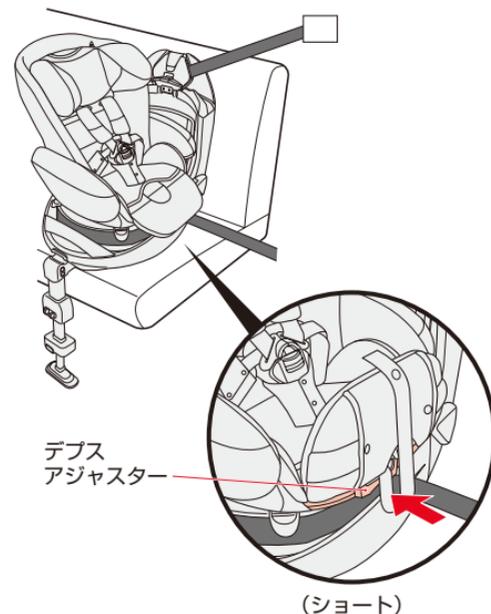
警告 回転操作時は、可動部にお子さまの手、指、足などを近づけない。可動部で挟まれ重傷を負うおそれがあります。
回転後、回転レバーが戻り、シート部が固定されていること。衝突の際に充分性能を発揮できません。

- 2** 〈リクライニングの調節〉(P23 参照)
- ①リクライニングレバーを引き上げる。
 - ②背もたれを 1、2 段目(後向き専用)にする。

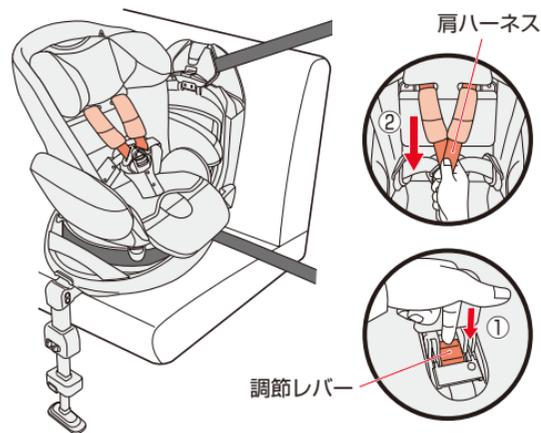


・操作後、リクライニングレバーが戻り、背もたれが固定されていること。

- 3** 〈デプスアジャスター(奥行き調節座面)の確認〉
デプスアジャスターがショートになっていることを確認する。



- 4** 〈肩ハーネスをゆるめる〉
- ①座面カバーをめくり、調節レバーを押す。
 - ②調節レバーを押したまま肩ハーネスを手前に引き、ゆるめる。
(肩パッドより下の肩ハーネスを引く。)



肩ハーネスを緩める際は、肩パッドを持って引っ張らないでください。重く感じる際は、片方ずつ引っ張ってください。

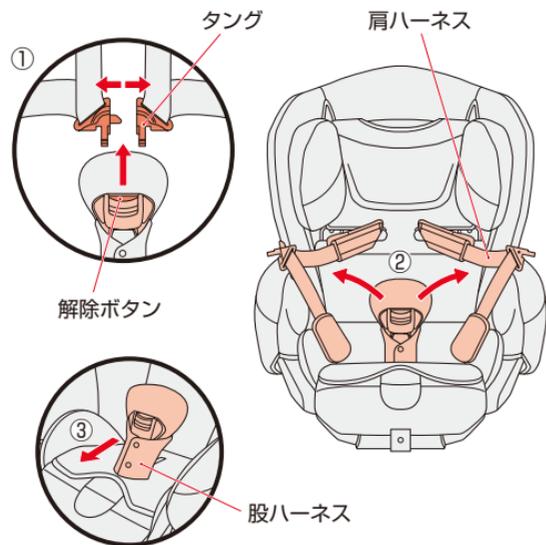


後向きのお子さまの乗せかた 〈首すわりから 13kg未満〉

5

〈タングを外す〉

- ①バックルの解除ボタンを押し、タングを外す。
- ②肩ハーネスを左右に開く。
- ③股ハーネスを一番前まで出す。(P25 参照)

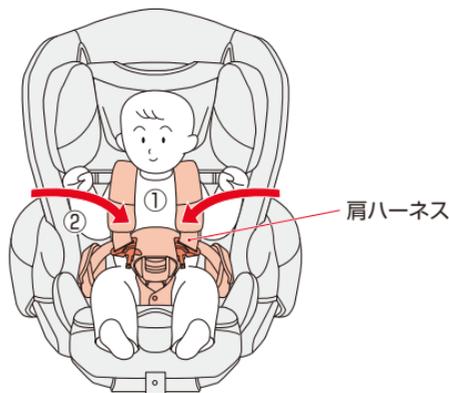


6

〈お子さまを乗せる〉

- ①お子さまを座席に深く座らせる。
- ②お子さまの肩に肩ハーネスを掛ける。

・肩ハーネスは、正面から見て肩に近い肩ハーネス位置に調節していること。(P25 参照)

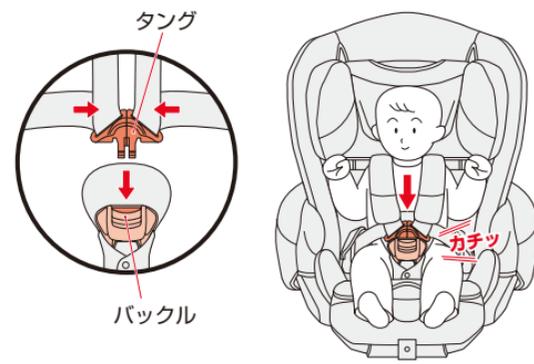


ヘッドガードがお子さまの頭頂に当たる場合は、ヘッドガードを倒してご使用ください。

7

〈タングを差し込む〉

- ①左右のタングを組み合わせ、「カチッ」とバックルに固定されるまで差し込む。

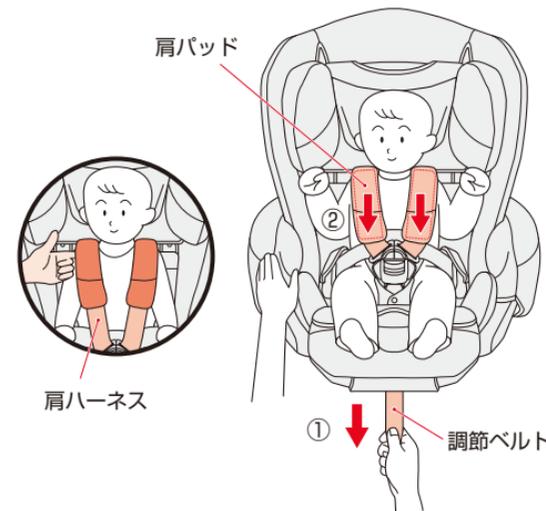


・タングをバックルに差し込む時は、差し込み口付近に指や手を近づけない。
手や指などが挟まれ重傷を負うおそれがあります。
 ・タングをバックルに差し込む時、「カチッ」と音がしない場合は本製品を使用しない。
衝突の際に充分性能を発揮できません。
 ・バックルに水やジュース、泥水、ゴミなどが入った場合は本製品は使用しない。(P74参照)
衝突の際に充分性能を発揮できません。

8

〈肩ハーネスを短く調節する〉

- ①調節ベルトを引き、肩ハーネスを締める。
- ②肩パッドを引き出す。



・お子さまの鎖骨と肩ハーネスの間に指が1本入る程度が適切です。

後向きのお子さまの乗せかた 〈首すわりから 13kg未満〉

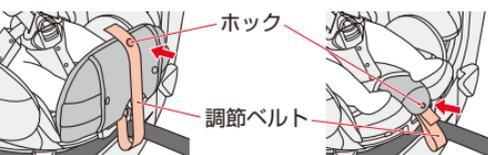
警告

- 肩ハーネス、腰ハーネスは、ねじれたり、緩んだ状態で使用しない。また、腰ハーネスは骨盤上以外で着用しない。
衝突の際に充分性能を発揮できません。



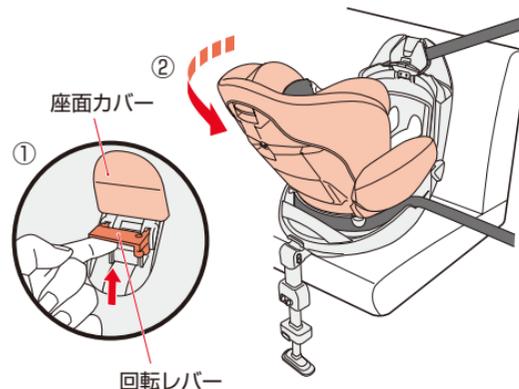
注意

- 調節ベルトのフックがフットレスト裏側のフックにとまっていること。
外れた状態で本体を回転させると調節ベルトが巻き込まれるおそれがあります。



〈DX・HIDX〉 〈STD〉

- 9** 〈シート部を後向きに回転させる〉(P21 参照)
- ①座面カバーをめくり、回転レバーを引き上げる。
 - ②シート部を後向きに回転させる。



警告

- 回転操作時は、可動部にお子さまの手、指、足などを近づけない。可動部で挟まれ重傷を負うおそれがあります。
- 回転後、回転レバーが戻り、シート部が固定されていること。衝突の際に充分性能を発揮できません。
- お子さまを乗せた状態で回転させる時は、お子さまの手足を本体とベースの間などに近づけない。可動部で挟まれ重傷を負うおそれがあります。

後向き使用時の確認 〈もう一度ご確認いただきたい項目です。〉

警告

- 肩ハーネス、腰ハーネスは、ねじれたり、緩んだ状態で使用しない。また、腰ハーネスは骨盤上以外で着用しない。衝突の際に充分性能を発揮できません。
- 正しく取り付けられたパッド類以外の物をチャイルドシート内におかない。衝突の際に充分性能を発揮できません。



肩に近い肩ハーネス位置に調節していること。

肩パッドが引き出されていること。

お子さまの骨盤を拘束するように、腰ハーネスを低く下げていること。

タンクがバックルに「カチッ」と音がするまで差し込めていること。

バックルが股ハーネスカバーよりはみ出さないこと。

デブスアジャスター（奥行き調節座面）がショートになっていること。

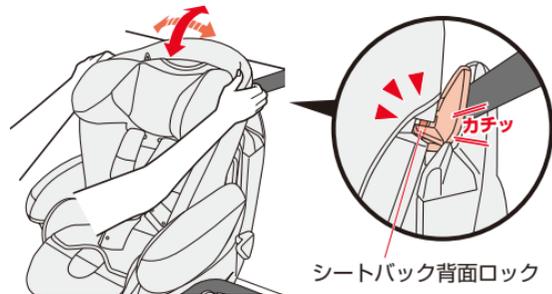
- 正しくできていない場合は、もう一度P51～P55の手順をやり直してください。
- 車のシートベルトにお子さまを乗せる前と比べて大きな緩みがないこと。

前向きにする

〈体重：9kgから 18kg未満〉
(P9「お子さまの条件」参照)

1 〈目視と手で動かして確認する〉

- ①シートバック背面ロックがベース側のベルトロックを通り、「カチッ」とロックされたことを確認する。
- ②本体上部を前後左右に動かし、本体が固定されていることを確認する。



警告

- ・シートバック背面ロックが必ずロックされていること。
- ・回転後、回転レバーが戻り、シート部が固定されていること。**衝突の際に充分性能を発揮できません。**

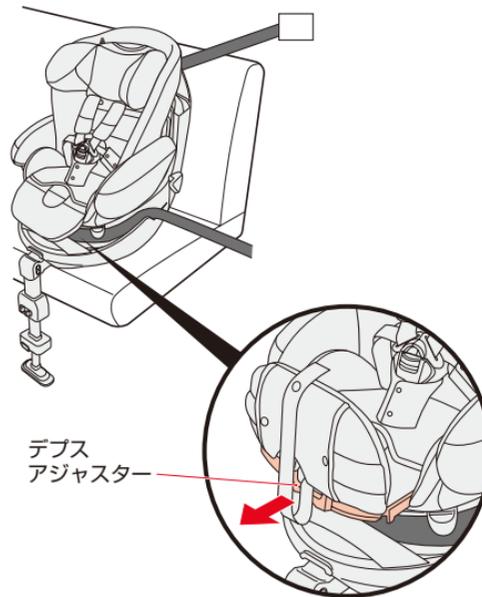


注意

- ・回転レバーを握り続けるとロックが入らない場合があります。

2

- #### 〈デプスアジャスター(奥行き調節座面)の調節〉
- デプスアジャスターをお子さまの体型にあわせて調節する。(P20 参照)



前向きのお子さまの乗せかた

〈体重：9kgから 18kgまで〉

1

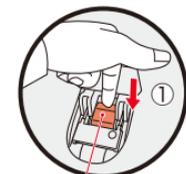
〈肩ハーネスをゆるめる〉

- ①座面カバーをめくり、調節レバーを押す。
- ②調節レバーを押したまま肩ハーネスを手前に引き、ゆるめる。(肩パッドより下の肩ハーネスを引く。)



アドバイス

ヘッドガードを倒して使用します。



調節レバー



肩ハーネス



アドバイス

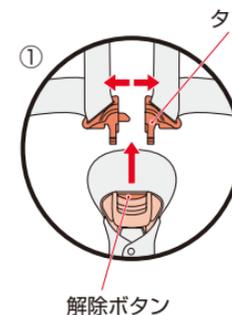
肩ハーネスを緩める際は、肩パッドを持って引っ張らないでください。重く感じる際は、片方ずつ引っ張ってください。



2

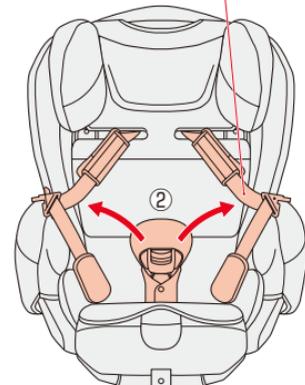
〈タングを外す〉

- ①バックルの解除ボタンを押し、タングを外す。
- ②肩ハーネスを左右に開く。
- ③股ハーネスを一番前まで出す。(P25 参照)



解除ボタン

タング



股ハーネス

前向きのお子さまの乗せかた 〈体重：9kgから 18kgまで〉

- 3** **〈お子さまを乗せる〉**
 お子さまを座席に深く座らせる。

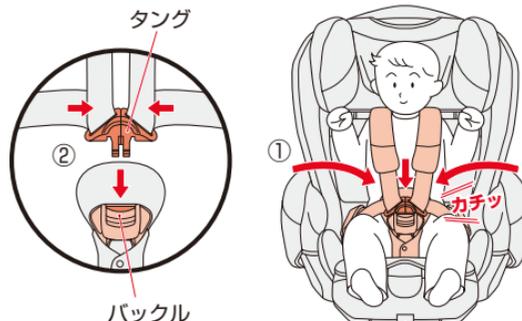


・肩ハーネスは、正面から見て肩よりすぐ上の肩ハーネス位置に調節していること。(P26参照)

警告

・お子さまの耳の上端部が本体の上端部より上に出る場合は使用しない。
 衝突の際に充分性能を発揮できません。

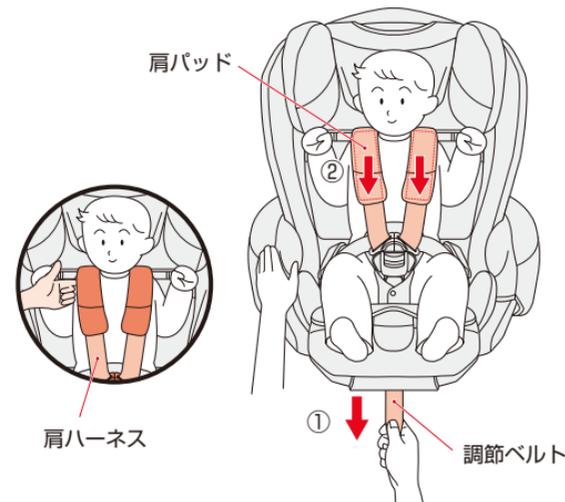
- 4** **〈タングを差し込む〉**
 ①お子さまの肩に肩ハーネスを掛ける。
 ②左右のタングを組み合わせ、「カチッ」とバックルに固定されるまで差し込む。



警告

- ・タングをバックルに差し込む時は、差し込み口付近に指や手を近づけない。
 手や指などが挟まれ重傷を負うおそれがあります。
- ・タングをバックルに差し込む時、「カチッ」と音がしない場合は本製品を使用しない。
 衝突の際に充分性能を発揮できません。
- ・バックルに水やジュース、泥水、ゴミなどが入った場合は本製品は使用しない。(P74参照)
 衝突の際に充分性能を発揮できません。

- 5** **〈肩ハーネスを短く調節する〉**
 ①調節ベルトを引き、肩ハーネスを締める。
 ②肩パッドを引き出す。



アドバイス

- ・お子さまの鎖骨と肩ハーネスの間に指が 1 本入る程度が適切です。
- ・肩パッドが奥に入り込んだ場合は全て引き出して下さい。

警告

・肩ハーネス、腰ハーネスは、ねじれたり、緩んだ状態で使用しない。また、腰ハーネスは骨盤上以外で着用しない。
 衝突の際に充分性能を発揮できません。

注意

・調節ベルトのフックがフットレスト裏側のフックにとまっていること。
 外れた状態で本体を回転させると調節ベルトが巻き込まれるおそれがあります。

〈DX・HIDX〉 〈STD〉

前向き使用時の確認 <もう一度ご確認ください。>



警告

- ・肩ハーネス、腰ハーネスは、ねじれたり、緩んだ状態で使用しない。また、腰ハーネスは骨盤上以外で着用しない。**衝突の際に充分性能を発揮できません。**
- ・正しく取り付けられたパッド類以外の物をチャイルドシート内におかない。**衝突の際に充分性能を発揮できません。**

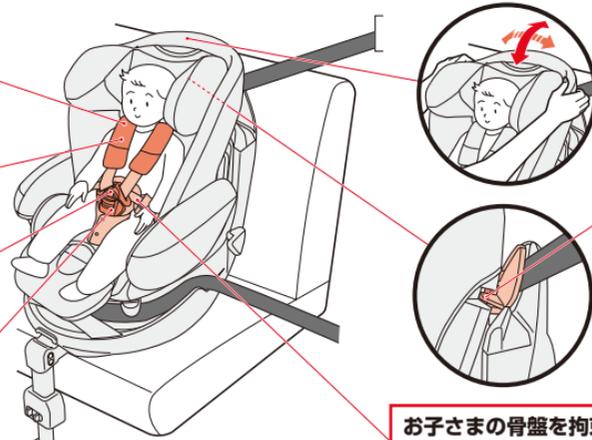


肩よりすぐ上の肩ハーネス位置に調節していること。

肩パッドが引き出されていること。

タンクがバックルに「カチッ」と音がするまで差し込めていること。

バックルが腰ハーネスカバーよりはみ出さないこと。



シートバック背面ロックがロックされていることを手で動かして確認すること。

シートバック背面ロック

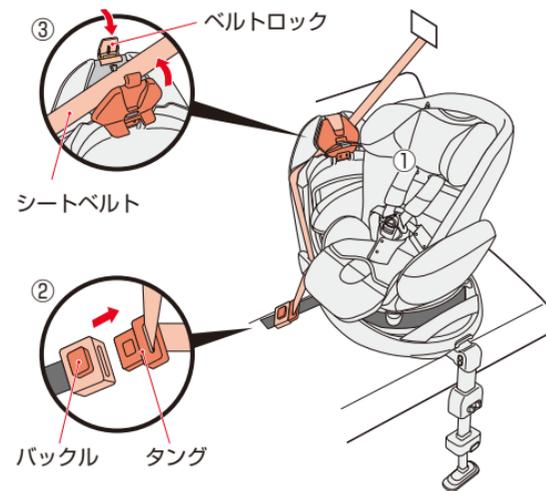
シートバックは背面ロックがロックされていることを目視で確認すること。

お子さまの骨盤を拘束するように、腰ハーネスを低く下げていること。

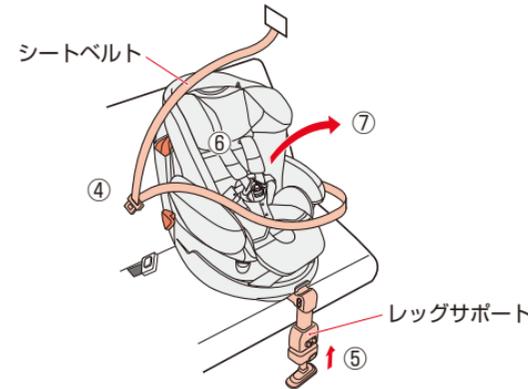
- ・正しくできていない場合は、もう一度P57～P60の手順をやり直してください。
- ・車のシートベルトにお子さまを乗せる前と比べて大きな緩みがないこと。

車からの取り外しかた

- ①本体をドア側(もしくは内側)に回転させる。
- ②車のシートベルトのバックルを解除し、タンクを外す。
- ③ベルトロックを解除し、シートベルトを外し、ベルトロックを閉じる。



- ④車のシートベルトをベルトガイドから外す。
- ⑤レッグサポートを一番短くする。
- ⑥本体を前向きに回転させる。
- ⑦チャイルドシートを車の座席から降ろす。



アドバイス

- ・レッグサポートを収納するときは最も短い状態に合わせてください。



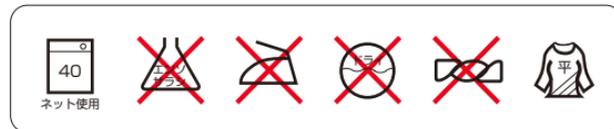
注意

- ・長時間使用されない時や保管の時には、レバーが正しくロックされているか確認してください。故障の原因になります。

縫製品の洗いかた

〈ヒップインナーシート、背もたれカバー、背もたれベースカバーの洗濯〉

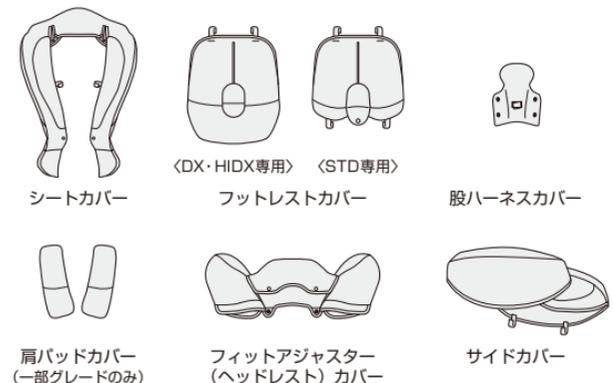
※ネット使用にて洗濯機洗い可能です。



DX (HIDX専用) STD (DX専用) ヒップインナーシート 背もたれカバー 背もたれベースカバー

アドバイス ・汚れた部分だけ取り外して洗濯できます。

〈シートカバー、フットレストカバー、股ハーネスカバー、肩パッドカバー、フィットアジャスターカバー、サイドカバーの洗濯〉

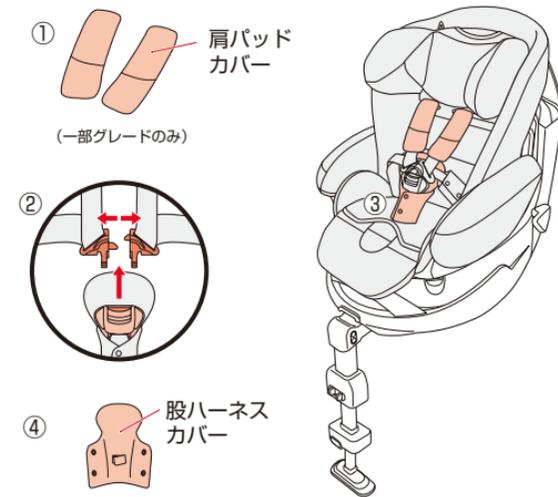


シートカバー フットレストカバー 股ハーネスカバー 肩パッドカバー (一部グレードのみ) フィットアジャスター (ヘッドレスト) カバー サイドカバー

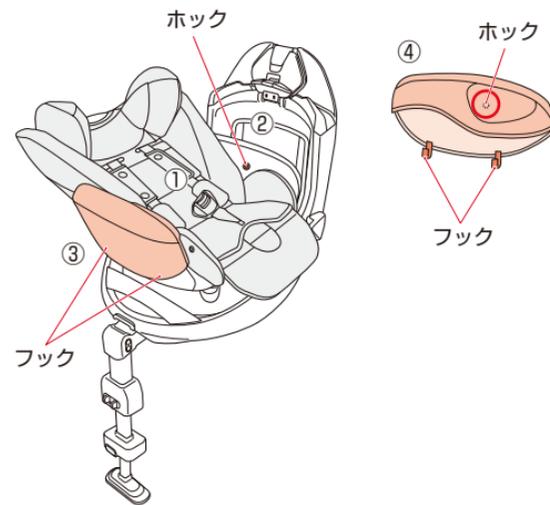
注意 ・他のものと一緒に洗濯しないでください。色移り(移染)のおそれがあります。
 ・肩パッド、腰パッド、フレックスシェード、フィットアジャスタークッション、レッグクッションは洗濯できません。樹脂部分、ハーネス、パッド類のお手入れに従ってください。(P72参照)

シートカバーの取り外しかた

- 1** 〈肩パッドカバー・股ハーネスカバーの取り外しかた〉
- ① 肩パッドの面ファスナーを外し、肩パッドカバーを取り外す。(P29参照)
 - ② バックルの解除ボタンを押し、タングを外す。
 - ③ 股ハーネスカバーのホック(2カ所)を外す。
 - ④ 面ファスナーを外し、股ハーネスカバーを取り外す。



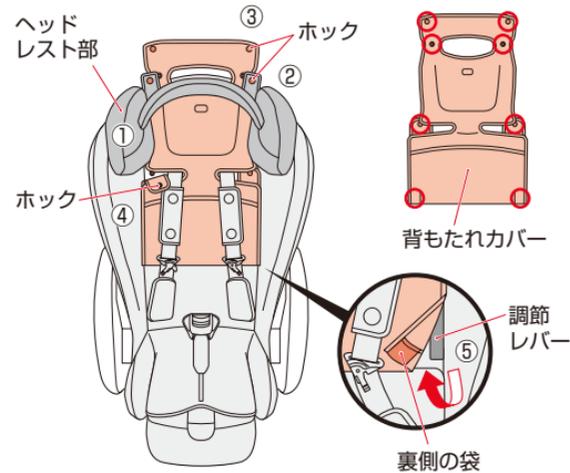
- 2** 〈サイドカバーの取り外しかた〉
- ① 本体を横向きベッドにする。
 - ② サイドカバーのホック(1カ所)を外す。
 - ③ サイドカバーのフック(2カ所)を外す。
 - ④ サイドカバーを取り外す。



シートカバーの取り外しかた

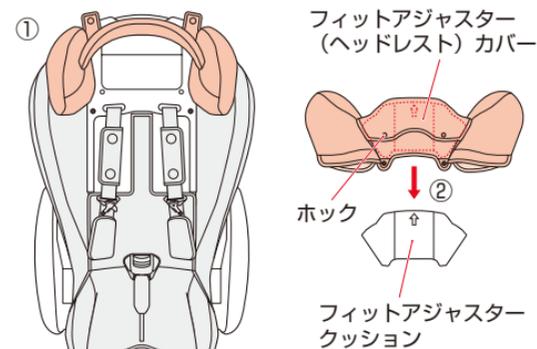
3 <背もたれカバーの取り外しかた>

- ①ヘッドレスト部を最上段まで引き上げ、ヘッドガードを起こす。
- ②フィットアジャスター(ヘッドレスト)カバーのホック(2カ所)を外す。
- ③背もたれカバー背面のホック(2カ所)を外す。
- ④背もたれカバー正面のホック(2カ所)を外す。
- ⑤背もたれカバー下部裏側の袋(2カ所)を調節レバーから抜き取り、取り外す。



4 <フィットアジャスター(ヘッドレスト)カバーの取り外しかた>

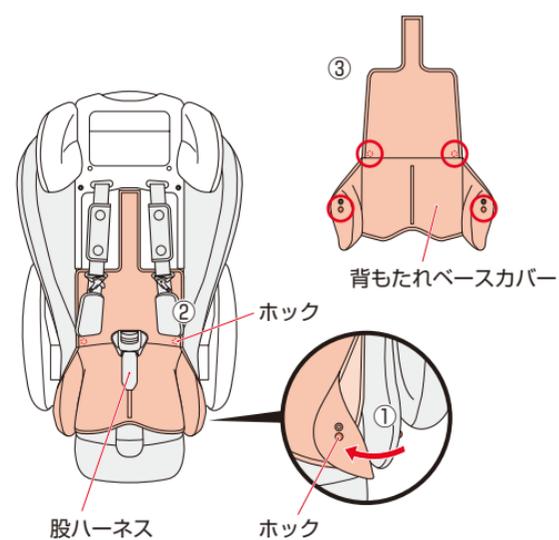
- ①フィットアジャスターカバーを取り外す。
- ②フィットアジャスターカバーのホック(2カ所)を外し、フィットアジャスタークッションを取り出す。



・フィットアジャスタークッションは洗わないでください。

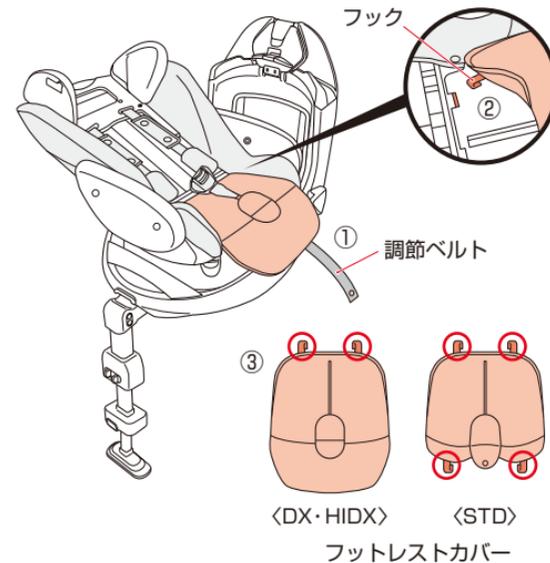
5 <背もたれベースカバーの取り外しかた>

- ①背もたれベースカバー横側のホック(2カ所)を外す。
- ②背もたれベースカバー裏側のホック(2カ所)を外す。
- ③股ハーネスを抜き、座面カバーを取り外す。



6 <フットレストカバーを取り外す>

- ①調節ベルトのホックを外す。
- ②フットレストカバーのフック(DX・HIDXは2カ所、STDは4カ所)を外す。
- ③股ハーネスを抜き、フットレストカバーを取り外す。

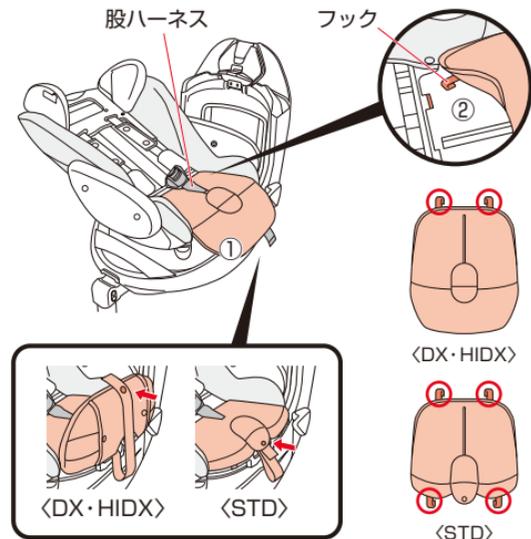


シートカバーの取り付けかた

2

〈フットレストカバーの取り付けかた〉

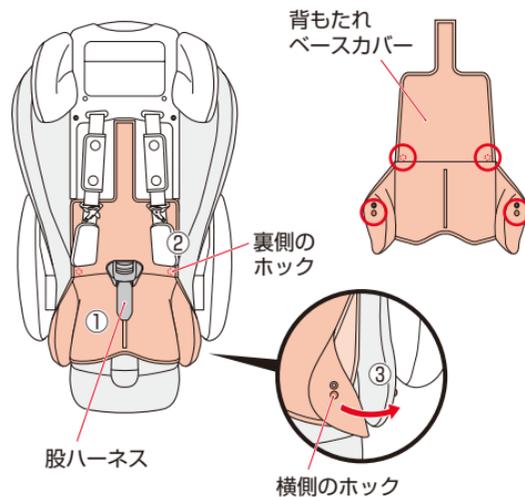
- ①股ハーネスを通し、フットレストカバーをかぶせる。
- ②フットレストカバーのフック(DX・HIDXは2カ所、STDは4カ所)をとめる。
- ③調節ベルトのフックをとめる。



3

〈背もたれベースカバーの取り付けかた〉

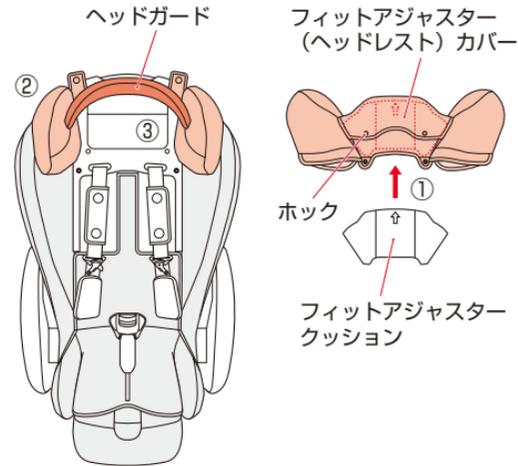
- ①股ハーネスを通し、背もたれベースカバーをかぶせる。
- ②背もたれベースカバー裏側のフック(2カ所)をとめる。
- ③背もたれベースカバー横側のフック(2カ所)をとめる。



4

〈フィットアジャスター(ヘッドレスト)カバーの取り付けかた〉

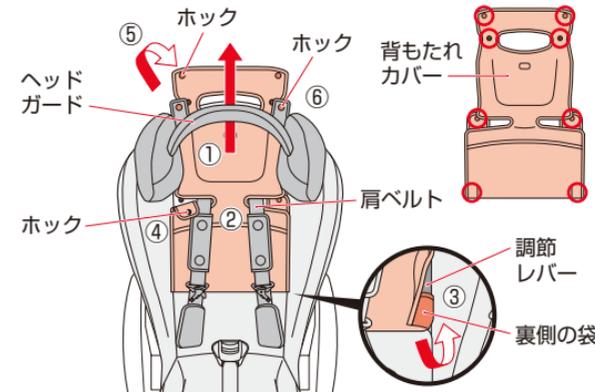
- ①フィットアジャスタークッションを取り付け、フック(2カ所)をとめる。
- ②フィットアジャスターカバーをかぶせる。
- ③ヘッドガードを起こす。



5

〈背もたれカバーの取り付けかた〉

- ①背もたれカバーの上部をヘッドガードの内側に通す。
- ②肩ベルトを通す。(左右)
- ③背もたれカバー下部裏側の袋(2カ所)を調節レバーにかぶせる。
- ④背もたれカバー正面のフック(2カ所)をとめる。
- ⑤背もたれカバー背面のフック(2カ所)をとめる。
- ⑥フィットアジャスター(ヘッドレスト)カバーのフック(2カ所)を背もたれカバーにとめる。

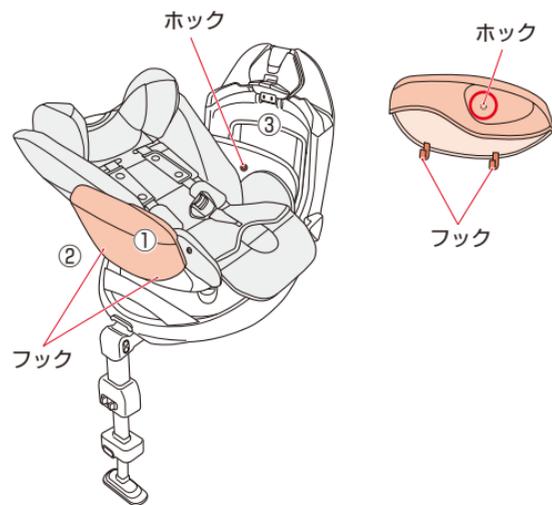


シートカバーの取り付けかた

6

〈サイドカバーの取り付けかた〉

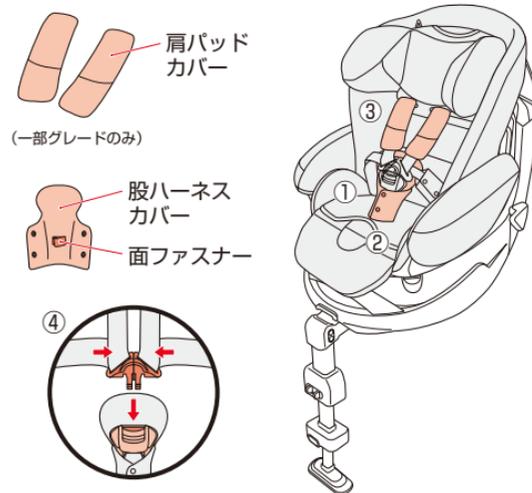
- ①サイドカバーをかぶせる。
- ②サイドカバーのフック(2カ所)をとめる。
- ③サイドカバーのホック(1カ所)をとめる。



7

〈股ハーネスカバー・肩パッドカバーの取り付けかた〉

- ①股ハーネスカバーの面ファスナーを股ハーネスに巻き付け、とめる。
- ②股ハーネスカバーのホック(2カ所)をとめる。
- ③肩パッドカバーと肩パッドそれぞれの面ファスナー(2カ所)を合わせ取り付け。
- ④タングをバックルに差し込む。



お手入れ／保管／廃棄のしかた

〈樹脂部分、ハーネス、パッド類のお手入れ〉

〈樹脂部分にほこりなどが吸着した場合〉

- ・タオルなどで乾拭きしてください。
- ・回転レバー付近にゴミがつかまらないようにこまめに掃除機などでゴミを吸い取ってください。

〈水溶性の汚れ(果汁、ヨダレ、オシッコなど)の場合〉

- ・40℃前後のお湯にタオルを浸し、軽く絞って拭き取ってください。
- ・ハーネス、パッド類は日陰で乾燥させてください。

〈非水溶性の汚れ(牛乳、油脂、マヨネーズなど)の場合〉

- ・40℃前後のお湯に中性洗剤を溶かし、スポンジを浸し、軽く絞って汚れた部分を軽くこすります。その後、水又は温水にタオルを浸し、軽く絞って十分に中性洗剤を拭き取ってください。
- ・ハーネス、パッド類は日陰で乾燥させてください。

〈保管するときは〉

- ・本体を湿気のないポリ袋などに入れ、直接日光に当たらない、冷暗所に保管してください。

〈廃棄するときは〉

- ・事故や落下などにより強い衝撃を受けた製品には、本品に「事故品」と油性ペンで目立つところに記入し再利用を防止してください。
- ・地球環境のため、不要になった場合は、お住まいの各自治体の指示にしたがい処分、廃棄してください。

材質

樹脂部	：ポリプロピレン
シートクッション	：ポリプロピレン発泡・ポリウレタン発泡
表生地	：ポリエステル



注意

- ・本体やパッド類、付属部品の洗浄にはシンナーなどの溶剤を使用しない。変色、変形、劣化のおそれがあります。



注意

- ・屋外に放置し、雨などにさらさない。劣化などにより、十分な性能を発揮できないおそれがあります。

困ったときには

〈解決しない場合は弊社お客様サポートセンターに連絡してください。〉

〈ご使用前に困ったとき〉

お気づきの点	対処方法
梱包箱の内容物に不足や間違いがある。	弊社お客様サポートセンター(0120-415-814)または、お買い上げの販売店までお問い合わせください。 参照 P 77「アフターサービスについての連絡先」
チャイルドシートをご使用になる車に、取り付け可能か判らない。	インターネットのアプリカホームページ[http://www.Aprica.jp/]や店頭のチャイルドシート取り付け可能車種一覧表を確認してください。参照 P 75「取り付け可能車種について」
車のどの座席に取り付けられれば良いのか判らない。	エアバックの有る助手席に取り付けることはできません。また、車両後部座席(3列シートの車両の場合は2列目以降の座席)への取り付けをお奨めします。参照 P 10「座席の条件」
チャイルドシートをどの向きで使えば良いか判らない。	お子さまの体重や成長に合わせて、お使いになる向きを決定してください。参照 P 9「お子さまの条件」

〈車への取り付けで困ったとき〉

お気づきの点	対処方法
シートベルトの“ねじれ”が取れない。	シートベルトのバックルにタンクを“ねじって”挿入していないか確認してください。 参照 P 40「取り付けかた」
	チャイルドシートを取り外し、車の取扱説明書に従って“ねじれ”を取り除いてください。 参照 P 62「車からの取り外しかた」
シートベルトの“ゆるみ”や“たるみ”が取れない。	ベースを座席の背もたれに押しつけ、肩シートベルトを手前に強く引き、“ゆるみ”や“たるみ”をなくしてください。参照 P 42「取り付けかた」
横向きベッド使用時、ドアに当たる。	車によってはドアやタイヤハウスなどに干渉する事がございますが、ご使用頂いても問題ありません。ドアの開閉時、ドアが確実にロックされた事をご確認ください。また取り付けの位置によってはドア干渉が回避される場合があります。バックルを踏みつけない程度にバックル側へ寄せて再度取り付けをお試しください。
チャイルドシートを取扱説明書の通りに車の座席に取り付けてもグラグラする。	車への取り付け方法を再度ご確認ください。もう一度初めから取り付け直してください。 参照 P 37「取り付けかた」
	何度取り付けでも固定できない場合は、チャイルドシートと車の座席がミスマッチの可能性があります。弊社お客様サポートセンター(0120-415-814)または、お買い上げの販売店までお問い合わせください。 参照 P 77「アフターサービスについての連絡先」

〈お子さまの乗せかたで困ったとき〉

お気づきの点	対処方法
肩ハーネスを最も引き出した状態で、お子さまに肩ハーネスを通してバックルにタンクが差し込めない。	肩ハーネスの位置を確認してください。参照 P 25「肩ハーネス位置の目安」 車内の温度を調節し、厚手の上着は脱がせてください。
	お子さまがベルトの上に乗っていないことを確認し、お子さまの腰を座面の奥まで移動させてください。
肩ハーネスとお子さまの適切なフィット感が判らない。	調節ベルトを引き、ベルトとお子さまの隙間が指1本入る程度まで締め込んでください。 参照 P 49(横)、54(後)、60(前)「お子さまの乗せかた」
肩ハーネスの左右の張りに大きな差がある。	左右の肩ハーネスのどちらかが緩く感じる場合は、お子さまの腰の位置を中央に戻してベルトをしめなおしてください。
チャイルドシートのバックルにタンクが入らない。	タンクとバックルの隙間に股ハーネスカバーなどを挟み込んでいないか確認してください。 参照 P 48(横)、54(後)、59(前)「タンクを差し込む」
	バックルに水やジュース、泥水、ゴミなどが入った場合は本製品は使用しない。弊社お客様サポートセンター(0120-415-814)または、お買い上げの販売店までお問い合わせください。 参照 P 77「アフターサービスについての連絡先」
横向きベッド時、お子さまの足が座面の先端からはみ出す場合。	横向きベッドでのご使用はできません。後向きは首すわりから13kg未満で、首がすわってからご使用できます。それまではご使用を一旦中止してください。
バックルにジュースやゴミなどが入ってタンクが差し込めない。	修理対応が必要です。弊社お客様サポートセンター(0120-415-814)までお問い合わせください。 参照 P 77「アフターサービスについての連絡先」

〈操作時に困ったとき〉

お気づきの点	対処方法
リクライニングが起こしにくい。	調節ベルトをゆるめてください。参照 P 27「肩ハーネス位置の調節のしかた」

取り付け可能車種について

- ・このチャイルドシートは準汎用型であり、以下に記したシートポジションをもつ車種に適用します。
- ・他の車両のシート位置でも本製品を装着するのに適したものがあります。疑問があるときは、弊社お客様サポートセンター(0120-415-814)または、お買い上げの販売店までお問い合わせください。
- ・本製品は、認可された車両が UN ECE-No.16 または他の同等の基準で認可された自動車 3 点式 / リトラクター付きシートベルトを装備している場合のみに適用しています。
- ・このチャイルドシートはフロントエアバッグが装備された助手席に使用できません。
- ・アプリカホームページ[<http://www.Aprica.jp/>]で最新版がご覧になれます。



保証について

〈保証期間とアフターサービス〉

・アフターサービスについて

ご使用中に故障などが発生したり、点検中に発見した場合、部品の交換または修理の必要が生じた場合、及びその他異常を感じた場合は、ご使用を中止し製品名・品番・ロット番号をご確認のうえ弊社お客様サポートセンター (0120-415-814) または、お買い上げの販売店までお問い合わせください。

・保証期間中 (**新規お買い上げ日より1年間です。**) に部品の欠品、不良加工など弊社の責任によるもの、本書や注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、保証規定にもとづき無償修理を致します
ただし、お預かりした製品を確認した結果、弊社にて修理ができないと判断した場合は製品交換とさせていただきます。

・ご購入日より3年以上経過した製品についての修理はいたしますが、製品の修理箇所以外の品質の保証はいたしかねます。

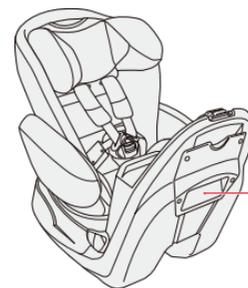
(修理箇所の保証期間は1カ月です。)

また、製造中止後の製品については、修理必要部品の在庫がなくなった場合、修理が出来ないこともあります。

(部品の保有期間は、製造中止後3年間です。)

・リサイクルショップなど中古品については保証の対象外です。

・お問い合わせの際は、スムーズな対応が行えますよう、**品名・品番・ロット番号**を必ずお伝えください。



○○○○○○ 000 00
00000-000000-000
品 番 ロット番号

品名・品番
ロット番号シール

アフターサービスについての連絡先

アプリカ・チルドレンズプロダクツ合同会社

〈電話連絡先〉

お客様サポートセンター TEL **0120-415-814**

携帯電話からご利用の場合（通話料お客様負担）TEL **0570-004-155**

受付時間：AM10：00～PM5：00（土、日、祝日、弊社所定休日を除く）

.....

〈製品をお送りいただく場合のみの宛先〉

〒632-0231 奈良県奈良市都祁吐山町2364-5

アプリカ 奈良サービスセンター ☎ (06) 4300-4949

お買い上げ時レシート
貼り付け位置

- ・お問い合わせの際に、スムーズな対応が行えますよう、お買い上げ時のレシート（領収書）を貼り付けてください。